

---

## 第4章 北本市の現況

---

- 1 北本市の概要
- 2 緑の現況
- 3 緑の意識調査結果

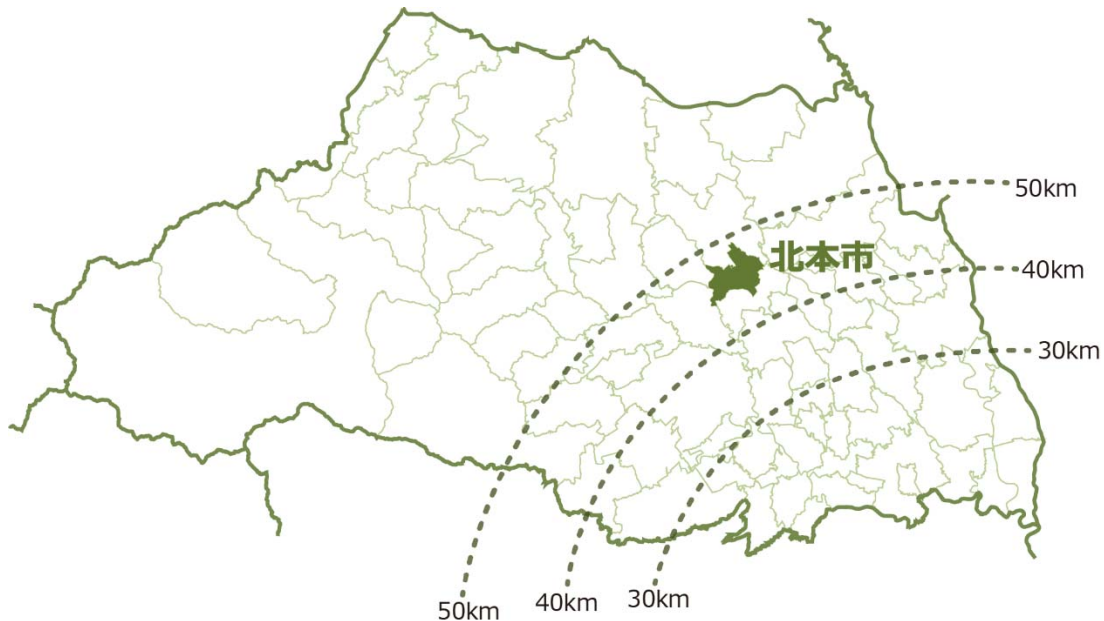
# 1 北本市の概要

## (1) 市の概況

北本市は、東経 139° 32′ 00″、北緯 36° 01′ 25″ で、埼玉県のほぼ中央部に位置し、北は鴻巣市、東南は桶川市、西は川島町・吉見町に隣接しています。東西は 5.8 km、南北は 5.3 km、面積は 19.82 k m<sup>2</sup>の広がりを持ち、都心から約 45km 圏に位置しています。

市の中心部には JR 高崎線が走り、上野駅まで約 45 分で結ばれており、さらに、平成 13 年 12 月には湘南新宿ラインが、平成 27 年 3 月には上野東京ラインが開通され、都心、京浜方面への交通利便性が高まりました。

道路については、国道 17 号が南北に JR 高崎線と平行しており、首都圏中央連絡自動車道が開通し、東名高速道路、中央自動車道、関越自動車道、東北自動車道に連結され、多方面への交通利便性が向上されたとともに、企業活動や観光の活性化が期待されています。



緯度経度		面積	大きさ		海拔
東経	北緯		東西	南北	
139度32分	36度01分25秒	19.82km <sup>2</sup>	5.8km	5.3km	24.05m

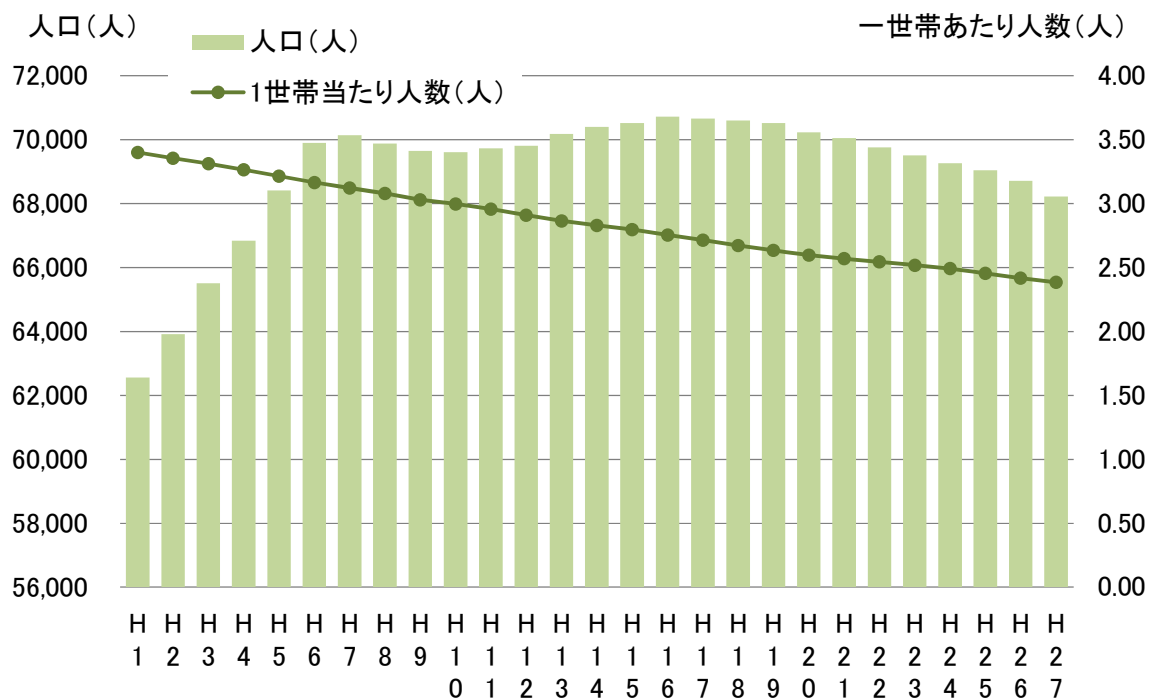
■ 北本市の位置と大きさ

(2) 人口

ア 人口

北本市の人口は、市の住民基本台帳によれば、平成27年10月1日時点68,222人、世帯数28,610世帯、世帯人員は2.38人/世帯です。また、行政区画面積に対する人口密度は34.42人/haとなっています。

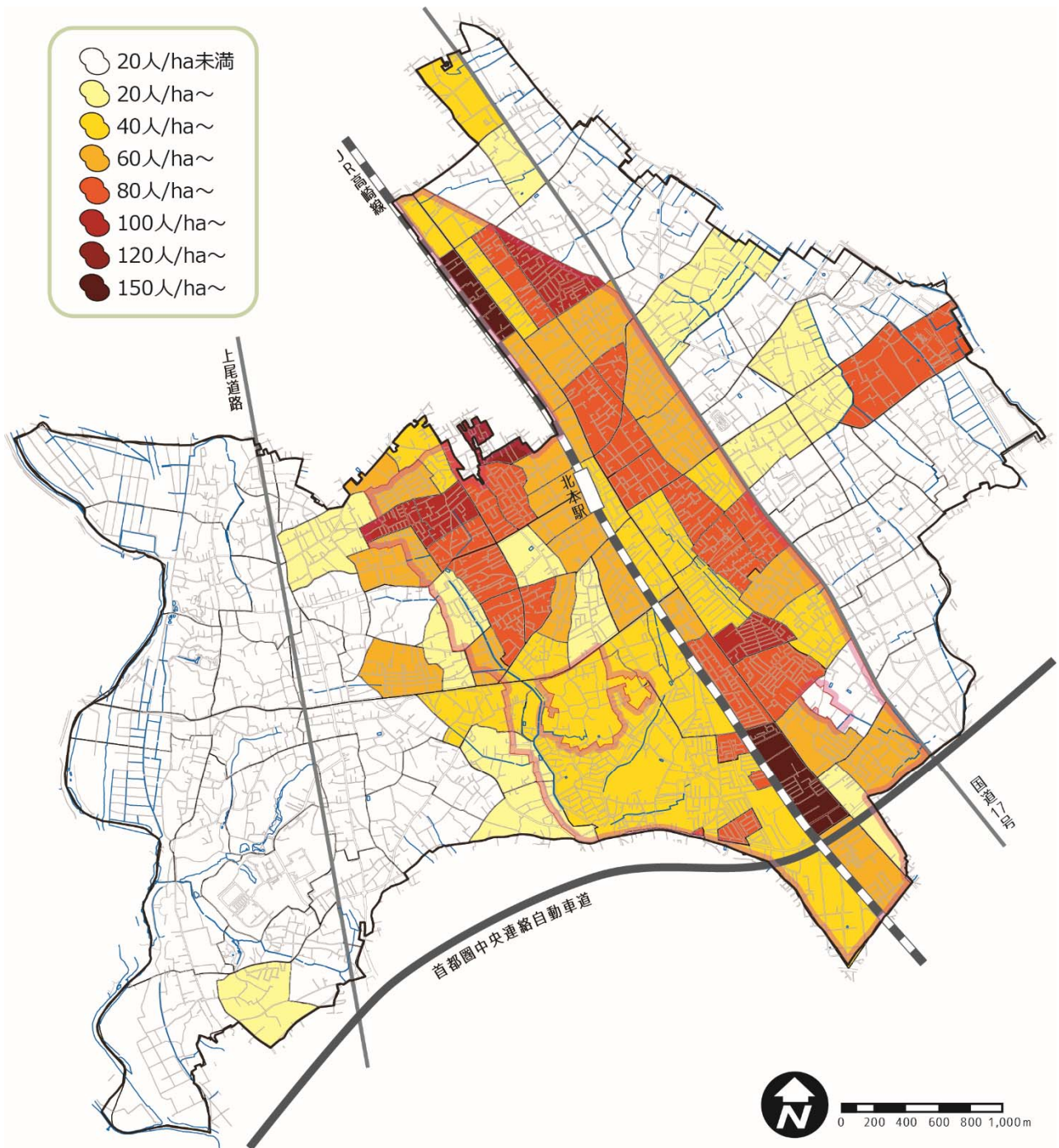
本市の人口推移は、高度経済成長期の昭和40年代以降、急激な人口増加がみられ、毎年概ね1,000人程度の人口増加を示していましたが、平成7年の70,139人を境に、初めて人口減少に転じました。その後は平成10年の69,608人から再度微増傾向を辿ったものの、平成16年の70,719人をピークに現在まで微減傾向にあります。



■ 北本市における人口等の推移（各年10月1日住民基本台帳）

## イ 人口分布

北本市における人口分布状況を地区別人口密度からみると、次図に示すように、人口密度 60 人/ha 以上のほとんどの地区は、現行市街化区域に集中しており、特に人口密度 100 人/ha 以上の高密度な地区はニツ家一丁目地区、東間五丁目地区など 8 地区に分布しています。



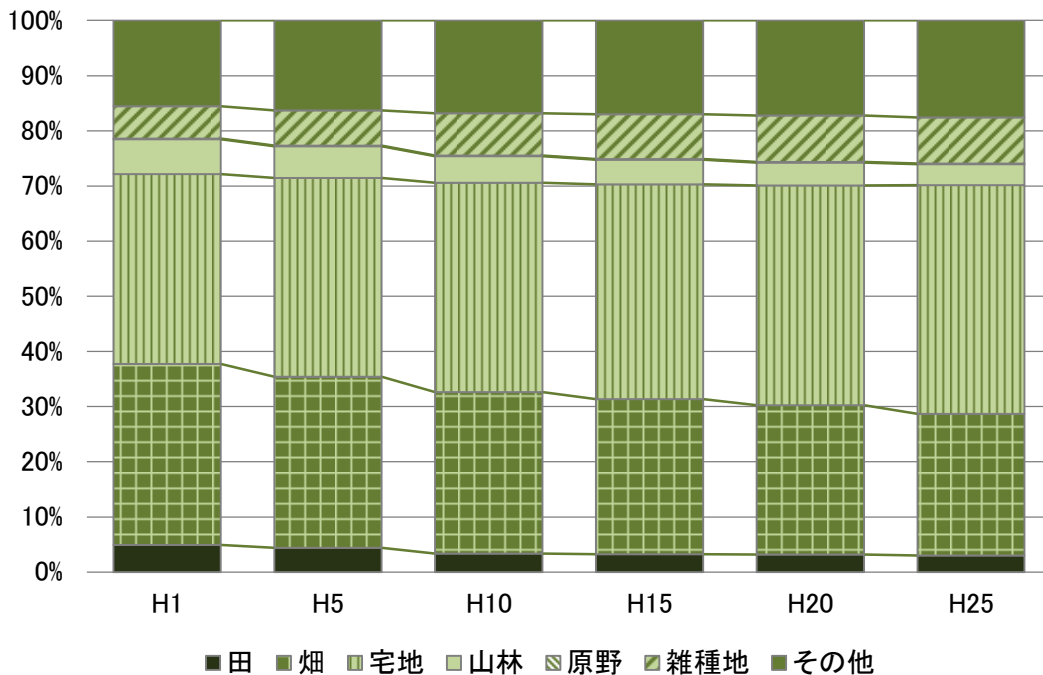
■ 北本市における人口密度（平成 22 年国勢調査）

(3) 土地利用

北本市の土地利用の移り変わりをみると、昭和40年頃は市内のほとんどが田畑を占める農村地帯でしたが、その後、首都圏の通勤圏に位置する本市は、都市化が著しく進展し、平成25年1月1日時点の地目別土地面積の状況は、宅地が41.5%、822.8ha、次いで畑が25.7%、509.9ha、雑種地が8.4%、166.1haとなりました。25年前（平成元年）の状況と比較してみると、田・畑が9.1ポイント、171.9ha、山林が2.5ポイント、48.9ha減少したのに対して、宅地が7.1ポイント、147.6ha増加し、都市開発による宅地化が進み、田・畑・山林等、緑のオープンスペースが、年々減少している状況となっています。

■ 地目別土地面積の推移（平成25年1月時点）

年	総面積	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	その他
H1	1,963.0	96.5	645.0	675.2	124.0	1.6	115.9	304.8
H5	1,981.0	87.3	614.3	713.8	114.4	1.5	126.4	323.3
H10	1,984.0	66.4	581.4	751.8	96.5	1.5	152.3	334.1
H15	1,984.0	64.1	557.9	771.9	89.5	1.5	161.7	337.4
H20	1,984.0	63.5	539.1	793.3	82.1	1.5	168.6	335.9
H25	1,984.0	59.7	509.9	822.8	75.1	1.4	166.1	349.0



■ 地目別土地面積の推移



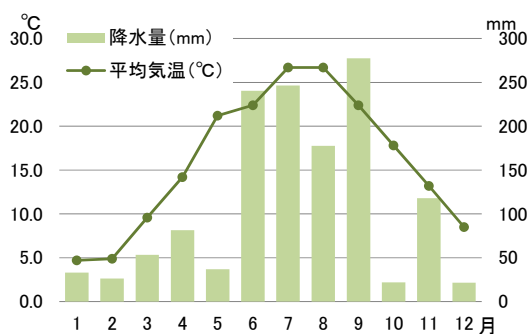


(4) 気象

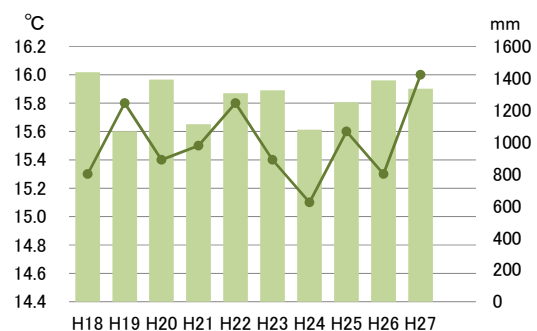
北本市の気候は、表日本型気候に属し、平均気温 15℃前後と年間を通じて比較的温暖な気候です。また、年間降水量は、1,100~1,500 mmとなっています。なお、平成 27 年における本市の気象状況は、年平均気温 16.0℃、年間降水量 1,335.0 mmとなっています。

■ 埼玉の気象状況（気象庁資料より作成、観測地点：熊谷地方気象台）

年月	気温 (°C)			平均風速 (m/s)	降水量 (mm)
	平均	最高	最低		
平成18年	15.3	37.5	-5.3	2.4	1,438.5
平成19年	15.8	40.9	-2.6	2.5	1,068.0
平成20年	15.4	37.3	-3.5	2.4	1,392.5
平成21年	15.5	36.8	-3.6	2.4	1,111.5
平成22年	15.8	38.1	-4.2	2.3	1,307.0
平成23年	15.4	39.8	-4.6	2.5	1,324.5
平成24年	15.1	37.8	-5.6	2.7	1,079.0
平成25年	15.6	39.3	-4.8	2.7	1,251.0
平成26年	15.3	38.8	-4.7	2.6	1,387.5
平成27年全	16.0	38.6	-4.6	2.5	1,335.0
平成27年1月	4.7	16.8	-4.6	3.7	33.0
2月	4.9	17.3	-3.5	3.1	26.5
3月	9.6	25.0	-1.4	3.0	53.5
4月	14.2	30.9	0.8	2.2	81.5
5月	21.2	32.6	9.5	2.6	37.0
6月	22.4	32.9	13.9	2.4	240.5
7月	26.7	38.2	18.7	2.1	246.5
8月	26.7	38.6	17.2	2.1	177.5
9月	22.4	32.2	14.7	2.0	277.5
10月	17.8	27.9	9.5	2.2	22.0
11月	13.2	23.3	2.4	1.9	118.0
12月	8.3	19.2	-0.7	2.6	21.5



■ 平成 27 年の月別平均気温及び降水量



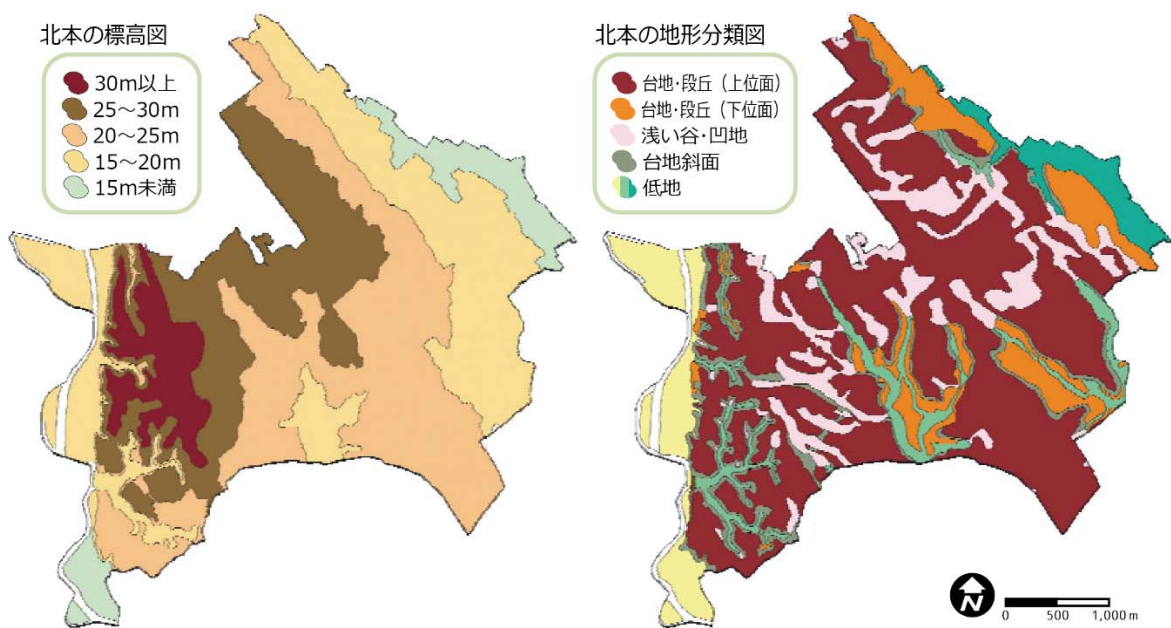
■ 年平均気温及び降水量の推移

## (5) 地形と地質

北本市は、市内の大部分が大宮台地上にあり、東部の一部分が赤堀川流域の低地に、西部の一部分が荒川流域の低地に位置します。西部の台地と低地の境界は、高尾・荒井・石戸宿の西側に沿って最高 15m のがけとなっており、荒川低地に落ち込んでいます。高尾・荒井・石戸宿付近には、「谷津」と呼ばれる地形があり、北本市を代表する景観を生み出しています。谷津は、台地に刻まれた谷（開析谷）の斜面や谷底からわき出る地下水（湧水）によって作られた低湿地です。一方、東部では大宮台地が次第に低くなっていき、深井・宮内・古市場付近で沖積低地に埋没しており、台地と低地の境がはっきりしないのが特徴です。

地質は、全体的に荒川、元荒川の沖積土からなっており、北足立台地に属する台地で、国道 17 号より西側では、黄褐色で表層腐植物を含まない土壌質から強粘質の関東ロームが広く発達しており、4~11m の層厚になっています。国道 17 号より東側では、表層腐植土層を混入する黄褐色のローム層が発達しています。

土壌は、台地上では、概して風積性火山灰を母材とした黒ボク、単色黒ボク土壌が主体を成し、荒川低地一帯は、主に粗粒~粘質の褐色または灰色低地土壌が分布しています。



■ 北本の地形



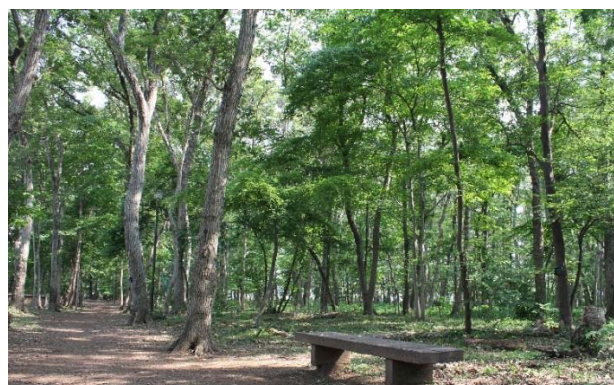
(6) 植生

北本市には、クヌギ・コナラ群落、ケヤキ・シラカシ群集が点在しており、その他は主に水田及び畑地です。今日の北本にある樹林地は、自然のものはごくわずかで、ほとんどは人手が入った二次林と呼ばれる雑木林となっています。

二次林等の樹林地を詳細に見ると、下石戸下、中丸、古市場、高尾、荒井及び石戸宿にはクヌギ・コナラ等の二次林が、市街地周辺にはアカマツを中心とした二次林が、荒川寄りの市街化調整区域一帯にはケヤキ群落や果樹園がそれぞれ分布しています。特に、クヌギ・コナラ等の二次林のうち、管理が行き届いた落葉広葉樹林では、カタクリ、ウバユリ、アマドコロ、ナルコユリ、ホウチャクソウ、チゴユリ、キンラン、ギンラン、ササバギンラン、エビネ、シュンラン、イチヤクソウ、イチリンソウ、ニリンソウ、イカリソウ、ヤマエンゴサクなどの貴重な植物が生育しています。



■ 北本市の植生図



■ 市内に点在する雑木林（北本中央緑地）

## (7) 野生生物

北本市には、雑木林や屋敷林、西部の谷津や荒川河川敷など、豊かな自然が多く残っており、「北本の動植物誌」（平成7年2月、北本市教育委員会）に記載のある本市で確認されている種のうち、「埼玉県レッドデータブック」に記載のある種は、植物25種、ほ乳類5種、鳥類59種、両生類3種、魚類5種、昆虫類43種にのぼり、これらの希少種が多く見られることは、非常に良好で多様な自然が残っていることを示しています。

### ○ 雑木林

雑木林に生息する代表的なチョウ類は樹頂性のシジミチョウで、本市ではアカシジミ、ウラナミアカシジミ、ミズイロオナガシジミ、オオミドリシジミ、県の蝶に指定されたミドリシジミの5種が生息しています。

また、本市の雑木林の代表的な樹種であるコナラ、クヌギの幹には、ボウトウガ幼虫やシロスジカミキリ幼虫が食害し、その傷ついた跡から樹液が出ます。これがいろいろな昆虫にとって栄養価に富んだ良い餌になり、早春には各種のキリガ、初夏から夏にかけてはカブトムシ、各種のクワガタ、アオカナブン、クロカナブン、カナブン、シロテンハナムグリ、スズメバチ、ゴマダラチョウ、キタテハ、ルリタテハ、サトキマダラヒカゲ、ヒカゲチョウなどが集まります。

雑木林は秋から冬にかけてすべての葉を落とすので、それが林床に堆積し腐葉となり、これを餌としてカブトムシ、コカブトが生息しています。このようにコナラ、クヌギの雑木林は多くの昆虫類のすみ家になっています。

### ○ 谷津に形成される湧水地

本市の谷津では、湧水を谷頭として小川が流れ、その周辺に湿地がひろがり、ところにより池沼が形成されています。また年間を通して水温の温度差が少ないのも特徴です。

このような場所は開墾するのに手がかかりすぎるため、自然状態のまま放置されることが多く、結果として多くの貴重な野生生物が保全されてきました。

環境省が指定した「絶滅の恐れのある野生生物」でも、谷津の環境を好む動植物が多く挙げられており、北本でも、ホンシュウオオイチモンジシマゲンゴロウ、エサキアメンボ、ババアメンボ、ミクリ、タコノアシ、ミゾコウジュなどがみられます。



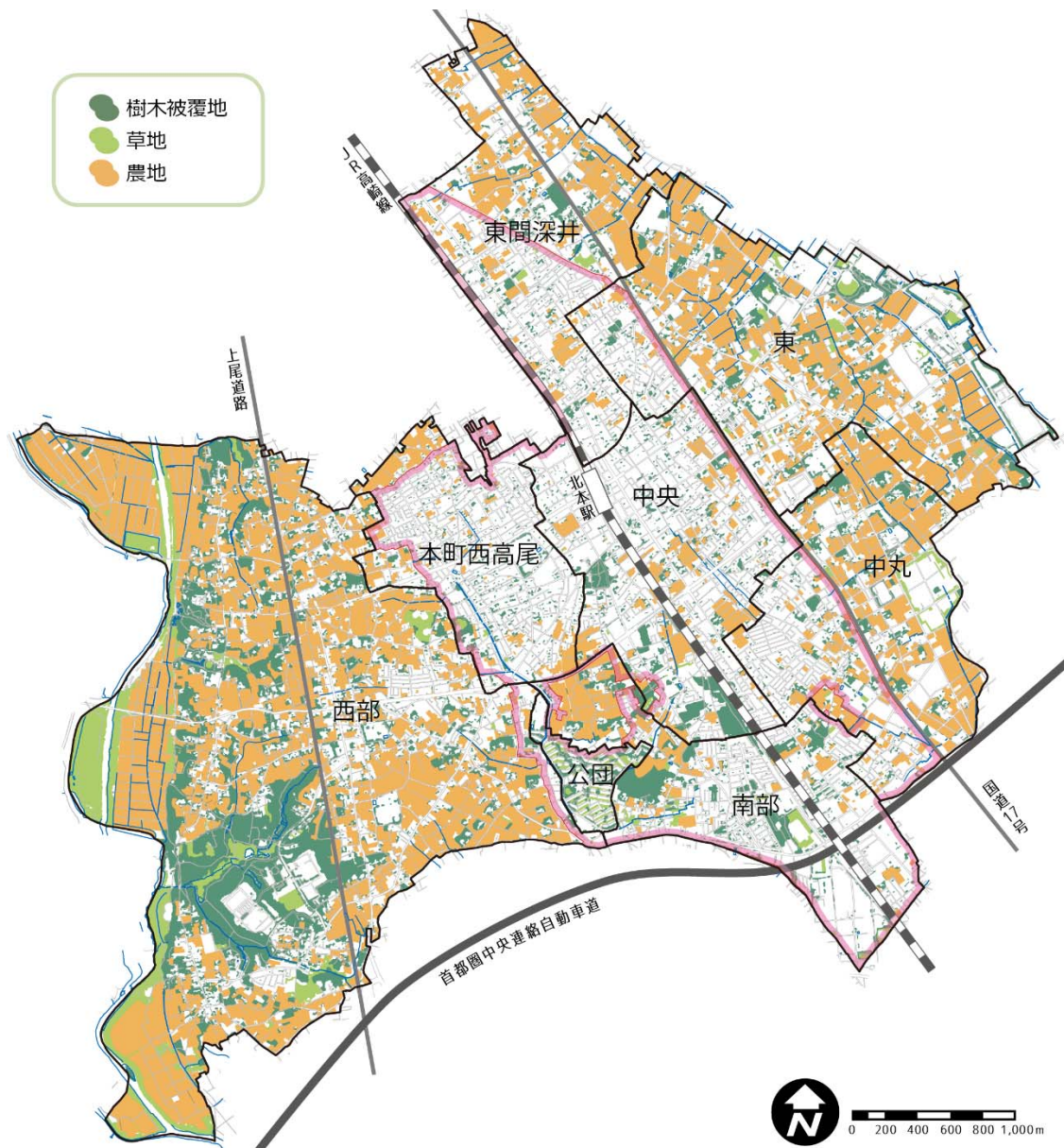
■ 雑木林に生息する昆虫（左：アカシジミ、右：カブトムシ）

## 2 緑の現況

### (1) 緑被の状況

#### ア 分布状況

市全体の緑被地の面積は954.8ha、市全域に対する緑被地の割合である緑被率は48.2%です。その内訳は、樹木被覆地が283.0ha(14.3%)、草地在75.1ha(3.8%)、農地が596.7ha(30.1%)となっています。そのうち、市街化区域においては、緑被地の面積は144.3ha、緑被率は20.0%で、その内訳は、樹木被覆地が71.6ha(9.9%)、草地在8.4ha(1.2%)、農地が64.3ha(8.9%)となっています。



■ 緑被分布図



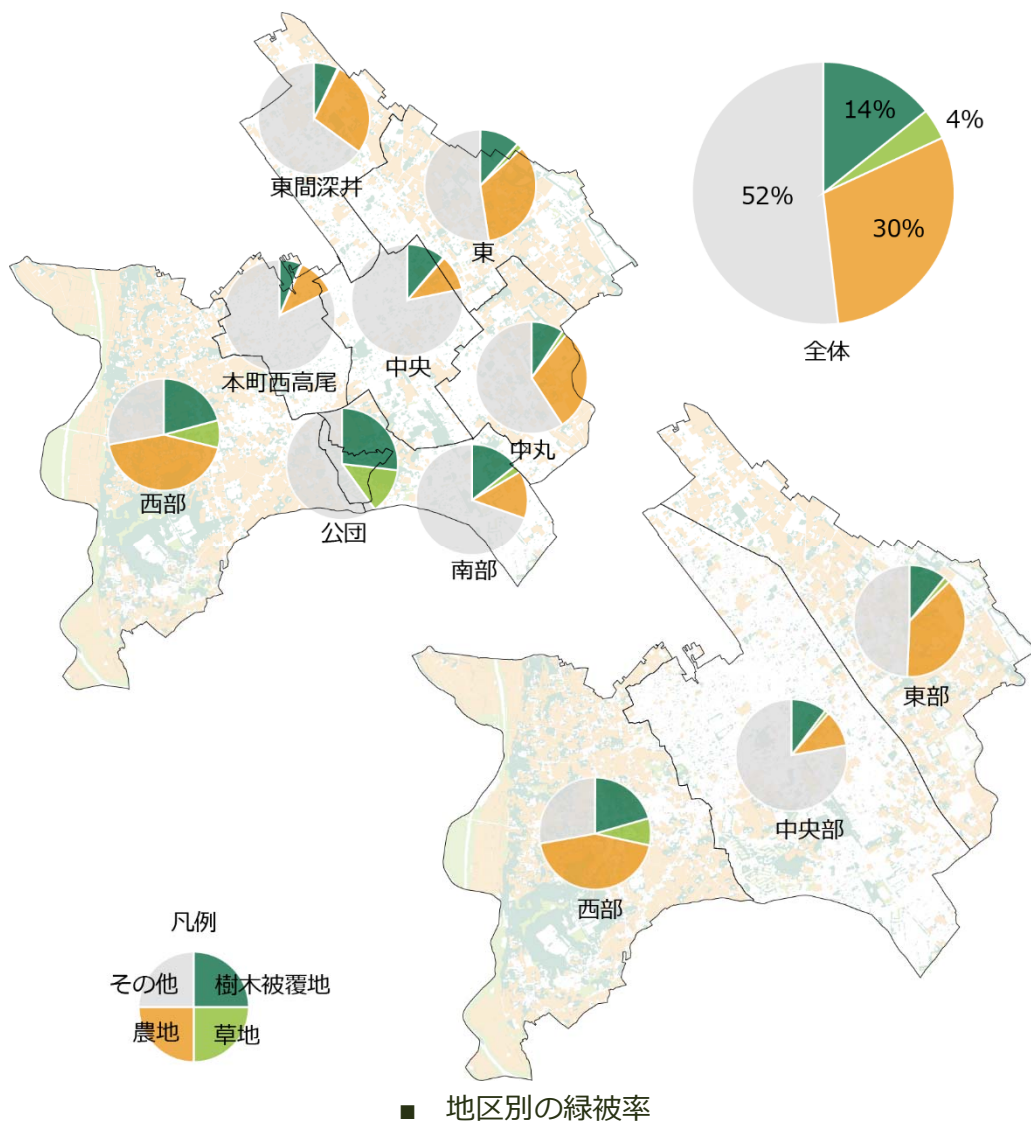
## イ 地区別の緑被状況

緑被率は西部地区が 72.4%と最も高く、荒川河川敷や北本自然観察公園、多くの農地が分布することから緑の多い地区となっています。

樹木率と草地率が最も高いのは地区面積の小さい公団です。公団は昭和 46 年に整備が行われ 40 年以上が経過しており、団地内の樹木の生長により緑の多い住宅団地となっています。また、ほぼ全域が市街化区域である本町西高尾地区、中央地区、南部地区のうち、緑被率が最も高いのは南部地区で 30.3%、逆に最も緑被率が低いのは本町西高尾地区で 17.7%となっています。

なお、市内には多くの雑木林が分布し、樹木被覆地の割合が 14.3%となっています。

3 地区でみると、市街化区域である中央部では緑被率が低く、西部や東部では農地面積が広いために高い緑被率になっています。また、樹林地が最も多いのも西部となっています。





■ 地区別の緑被面積 (ha) (平成 25 年 6 月時点)

地区	樹木被覆地	草地	農地	緑被地計	その他	面積	緑被率
中丸	18.6	2.8	60.0	81.4	118.0	199.4	40.8%
中央	23.1	0.6	21.4	45.1	161.7	206.8	21.8%
東	36.2	5.5	106.8	148.5	163.9	312.4	47.5%
東間深井	14.1	1.1	55.6	70.8	131.1	201.9	35.1%
南部	25.6	3.9	24.7	54.2	124.7	178.9	30.3%
本町西高尾	8.5	0.6	15.1	24.2	112.7	136.9	17.7%
西部	150.7	57.6	313.1	521.4	201.2	722.6	72.2%
公団	6.2	3.0	0.0	9.2	13.9	23.1	39.8%
全体	283.0	75.1	596.7	954.8	1,027.2	1,982.0	48.2%
割合	14.3%	3.8%	30.1%	48.2%	51.8%		

地区	樹木被覆地	草地	農地	緑被地計	その他	面積	緑被率
東部	56.1	8.9	198.2	263.2	255.7	518.9	50.7%
中央部	75.9	8.7	78.2	162.8	570.4	733.2	22.2%
西部	151.0	57.5	320.3	528.8	201.1	729.9	72.4%

## ウ 土地利用別の緑被状況

北本市における土地利用別の緑被現況をみると、住宅用地の緑被率は 16.6%、商業用地が 8.0%、工業用地は 14.3%と低くなっています。

公共施設用地は幼稚園・保育所が 22.5%、病院・診療所が 22.2%、老人ホームが 25.0%、処理場を除くその他の公共公益施設は 25.4%で、住宅用地や商業用地等と比較すると緑が多いことが分かります。

また、住宅用地の総面積は 554.6ha で、土地利用区分の中では最も割合が高くなっていますが、住宅用地内にある樹木被覆地も 88.6ha と山林の樹木被覆地の 73.6ha よりも多く、緑被率は比較的低くても多くの樹木があることが分かります。

### ■ 土地利用区分別の緑被面積（ha、カッコ内は面積率(%)）（平成 23 年 3 月時点）

土地利用区分	樹木被覆地	草地	農地	緑被地	総面積
田	0.1 (0.0)	1.6 (0.7)	232.2 (95.6)	233.9 (96.3)	243.0
畑	0.9 (0.2)	1.3 (0.3)	363.8 (96.3)	366.0 (96.9)	377.7
山林	73.6 (79.1)	3.6 (3.9)	0.0 (0.0)	77.2 (82.9)	93.1
水面	2.5 (11.8)	3.4 (16.1)	0.0 (0.0)	5.9 (28.0)	21.1
その他の自然地	8.3 (14.7)	35.7 (63.2)	0.0 (0.0)	44.0 (77.9)	56.5
住宅用地	88.6 (16.0)	3.3 (0.6)	0.2 (0.0)	92.1 (16.6)	554.6
商業用地	4.6 (5.7)	1.5 (1.9)	0.4 (0.5)	6.5 (8.0)	80.8
工業用地	10.9 (11.7)	2.4 (2.6)	0.0 (0.0)	13.3 (14.3)	93.1
公益施設用地（下記を除く）	18.1 (23.0)	1.9 (2.4)	0.0 (0.0)	20.0 (25.4)	78.7
幼稚園・保育所	0.9 (22.5)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.9 (22.5)	4.0
病院・診療所	2.0 (22.2)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	2.0 (22.2)	9.0
老人ホーム	0.6 (21.4)	0.1 (3.6)	0.0 (0.0)	0.7 (25.0)	2.8
処理場	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.2
道路用地	20.5 (9.3)	2.8 (1.3)	0.1 (0.0)	23.4 (10.6)	220.9
交通施設用地	0.7 (9.2)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.7 (9.2)	7.6
公共空地	40.8 (57.7)	13.3 (18.8)	0.0 (0.0)	54.1 (76.5)	70.7
その他の空地	9.9 (14.5)	4.2 (6.2)	0.0 (0.0)	14.1 (20.7)	68.2
合計	283.0 (14.3)	75.1 (3.8)	596.7 (30.1)	954.8 (48.2)	1982.0

## (2) 施設緑地の現況

北本市における施設緑地は、市街化区域が都市公園 8.76ha、公共施設緑地 12.32ha、民間施設緑地 10.74ha の計 31.82ha、市街化調整区域が都市公園 60.07ha、公共施設緑地 10.13ha、民間施設緑地 15.17ha の計 85.37ha であり、都市計画区域全体では 117.19ha です。

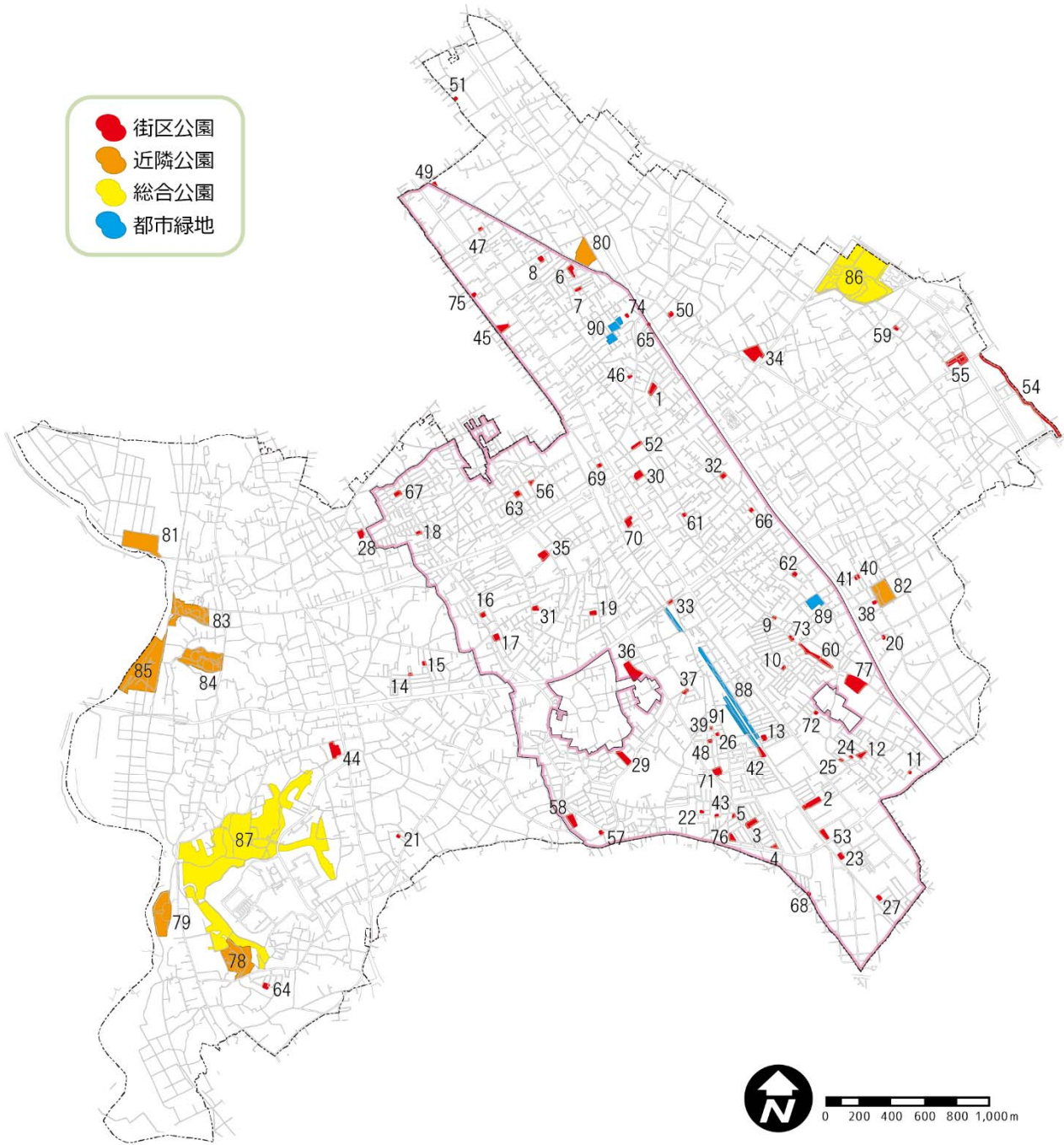
都市公園等については、平成 27 年 3 月時点で市街化区域内では基幹公園が街区公園のみで 60 ヶ所、5.29ha で、その他に都市緑地が 4 ヶ所、3.47ha で、合計 64 ヶ所、8.76ha です。また、市街化調整区域においては、基幹公園としてさらに合計 27 ヶ所、60.07ha が整備されており、都市計画区域全体で見ると、基幹公園が 87 ヶ所、65.36ha で、その他都市緑地が 4 ヶ所、3.47ha で、合計 91 ヶ所、68.83ha となっています。

公共施設緑地は、学校、幼稚園・保育所、学習センター、集会所、医療施設、福祉施設、公団団地、その他公共施設等で、東側の市街化調整区域内や本町西高尾地区、公団団地地区に多く分布しています。民間施設緑地は、寺社、墓地、宗教施設等で、比較的規模の大きなものは中央地区、南部地区、西部地区に点在しています。

本市西側を流れる荒川の荒井橋上流の左岸において整備を進めてきた北本水辺プラザ公園は、平成 24 年 5 月に供用を開始しました。当公園は、広場や遊歩道があり、周辺の高尾さくら公園や野外活動センター、トラスト保全第 8 号地（高尾宮岡ふるさと緑の景観地）を含めた地域交流の拠点となっています。



北本水辺プラザ公園



■ 都市公園現況図 (番号は一覧表に対応)



■ 都市公園の一覧（平成 27 年 3 月時点）

No	公園名	種別	面積	No	公園名	種別	面積
1	宮内公園	街	0.16	47	深井 2 丁目公園	街	0.03
2	下石戸公園	街	0.27	48	久保第 2 公園	街	0.01
3	南団地中央公園	街	0.19	49	深井 3 丁目公園	街	0.01
4	南団地東三角公園	街	0.04	50	宮内 5 丁目公園	街	0.07
5	南団地西三角公園	街	0.03	51	深井 6 丁目公園	街	0.04
6	東間公園	街	0.12	52	山王公園	街	0.06
7	東間ニュータウン公園	街	0.02	53	ニツ家 1 丁目公園	街	0.06
8	あづま西部団地公園	街	0.04	54	朝日さくら並木	街	0.26
9	中丸 2 丁目遊園地	街	0.02	55	朝日ワコーレ公園	街	0.42
10	中丸 5 丁目遊園地	街	0.01	56	西高尾 1 丁目三角公園	街	0.04
11	尾張屋団地公園	街	0.01	57	グリーンハイツ公園	街	0.04
12	三井団地公園	街	0.09	58	下石戸西部公園	街	0.21
13	みどり公園	街	0.05	59	朝日 2 丁目公園	街	0.02
14	チサン第 3 中央公園	街	0.01	60	やじりはら公園	街	0.34
15	チサン第 3 東公園	街	0.03	61	本宿 2 丁目公園	街	0.02
16	本町 7 丁目公園	街	0.06	62	中丸 3 丁目公園	街	0.02
17	本町 8 丁目公園	街	0.08	63	西高尾 1 丁目公園	街	0.09
18	高尾チサン子ども公園	街	0.02	64	石戸宿 4 丁目公園	街	0.05
19	緑 1 丁目公園	街	0.04	65	宮内 1 丁目公園	街	0.02
20	明和団地公園	街	0.01	66	本宿 5 丁目公園	街	0.02
21	北本苑公園	街	0.02	67	西高尾 7 丁目公園	街	0.08
22	久保公園	街	0.02	68	下耕地公園	街	0.02
23	シティハウス公園	街	0.07	69	北本一丁目きんもくせい公園	街	0.05
24	積水団地東公園	街	0.01	70	北本一丁目さくら公園	街	0.13
25	積水団地西公園	街	0.02	71	久保まんまる公園	街	0.18
26	下原公園	街	0.01	72	ニツ家二丁目公園	街	0.02
27	ニツ家交通安全子供広場	街	0.06	73	中丸二丁目花水木公園	街	0.02
28	高尾交通安全子供広場	街	0.11	74	宮内 3 丁目彩の杜公園	街	0.02
29	北本団地交通安全子供広場	街	0.19	75	東間 5 丁目スマイルタウン公園	街	0.02
30	北本 2 丁目公園	街	0.18	76	南団地西公園	街	0.10
31	本町 2 丁目交通安全子供広場	街	0.03	77	中丸公園	街	0.70
32	本宿 4 丁目公園	街	0.05	78	北本市子供公園	近	2.84
33	本宿 8 丁目交通安全子供広場	街	0.05	79	天神下公園	近	3.31
34	宮内スポーツ広場	街	0.59	80	深井スポーツ広場	近	1.10
35	本町公園	街	0.18	81	高尾スポーツ広場	近	2.15
36	北本宿緑地公園	街	0.51	82	中丸スポーツ広場	近	1.50
37	下原団地公園	街	0.04	83	高尾さくら公園	近	2.60
38	藤信公園	街	0.01	84	野外活動センター	近	2.71
39	下原第三公園	街	0.01	85	北本水辺プラザ公園	近	4.13
40	六建東公園	街	0.02	86	北本総合公園	総	10.60
41	六建西公園	街	0.02	87	北本自然観察公園	総	27.10
42	東原団地公園	街	0.09	88	北本中央緑地	緑	2.15
43	六建下久保公園	街	0.01	89	中丸緑地公園	緑	0.54
44	荒井公園	街	0.34	90	宮内緑地公園	緑	0.65
45	サンマンション東間公園	街	0.21	91	下原緑地公園	緑	0.13
46	宮内 2 丁目公園	街	0.01				

※種別) 街：街区公園、近：近隣公園、総：総合公園、緑：都市緑地

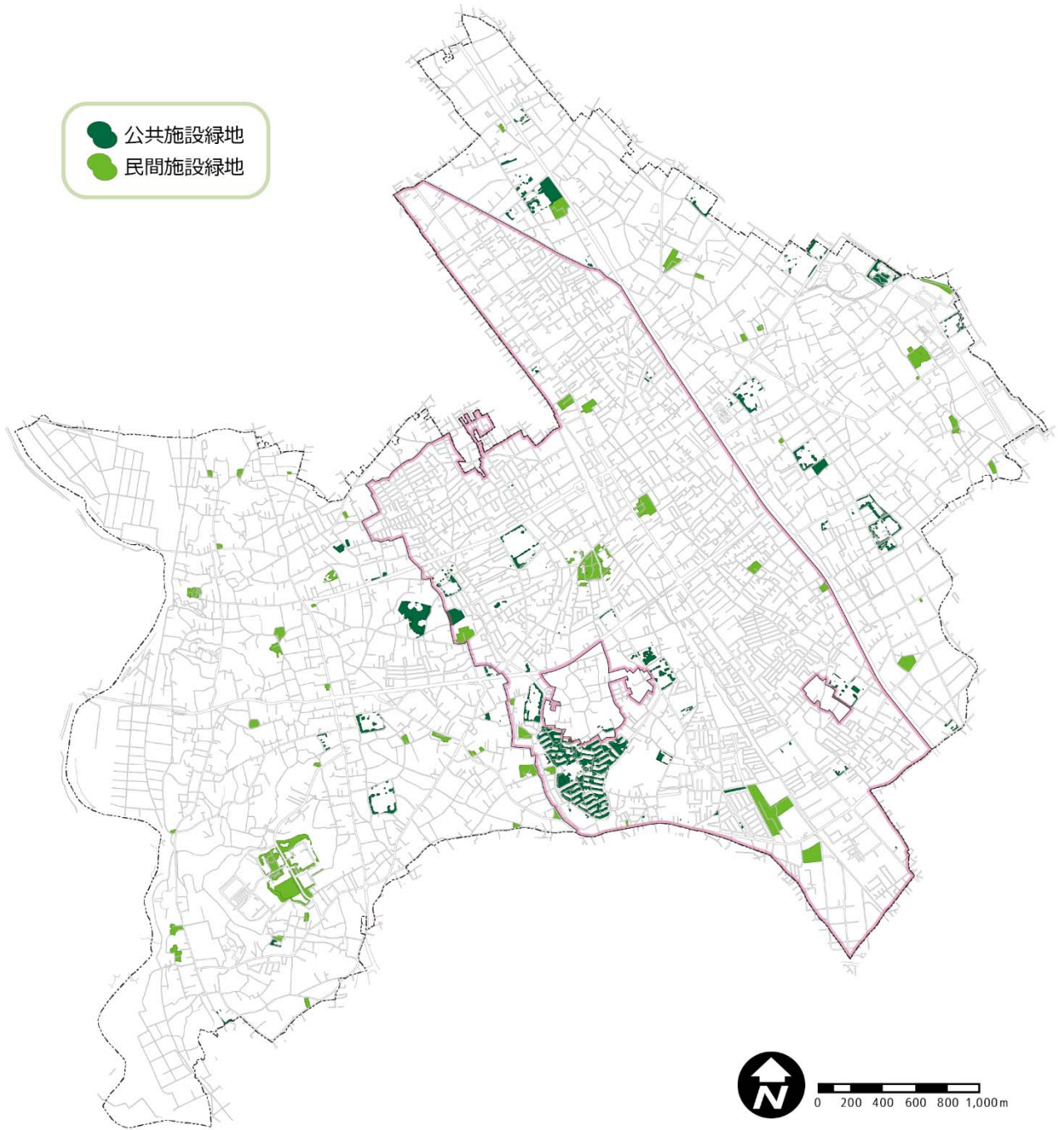
■ 施設緑地の面積 (ha) (平成 27 年 3 月時点)

種別	市街化区域	市街化調整区域	都市計画区域
都市公園	8.76	60.07	68.83
公共施設緑地	12.32	10.13	22.45
民間施設緑地	10.74	15.17	25.91
計	31.82	85.37	117.19

■ 都市公園等の面積 (ha、カッコ内は箇所数) (平成 27 年 3 月時点)

種別		市街化区域	市街化調整区域	都市計画区域	
基幹公園	住区基幹公園	街区公園	5.29 (60)	2.03 (17)	7.32 (77)
		近隣公園	- (-)	20.34 (8)	20.34 (8)
		地区公園	- (-)	- (-)	- (-)
	都市基幹公園	総合公園	- (-)	37.70 (2)	37.70 (2)
		運動公園	- (-)	- (-)	- (-)
特殊公園	風致公園、動植物公園 歴史公園、墓園、その他	- (-)	- (-)	- (-)	
大規模公園	広域公園 レクリエーション都市	- (-)	- (-)	- (-)	
緩衝緑地		- (-)	- (-)	- (-)	
都市林		- (-)	- (-)	- (-)	
広場公園		- (-)	- (-)	- (-)	
都市緑地		3.47 (4)	- (-)	3.47 (4)	
緑道		- (-)	- (-)	- (-)	
国営公園		- (-)	- (-)	- (-)	
計		8.76 (64)	60.07 (27)	68.83 (91)	

■ 施設緑地の分布状況



■ 公共施設緑地及び民間施設緑地の分布状況

### (3) 地域制緑地の現況

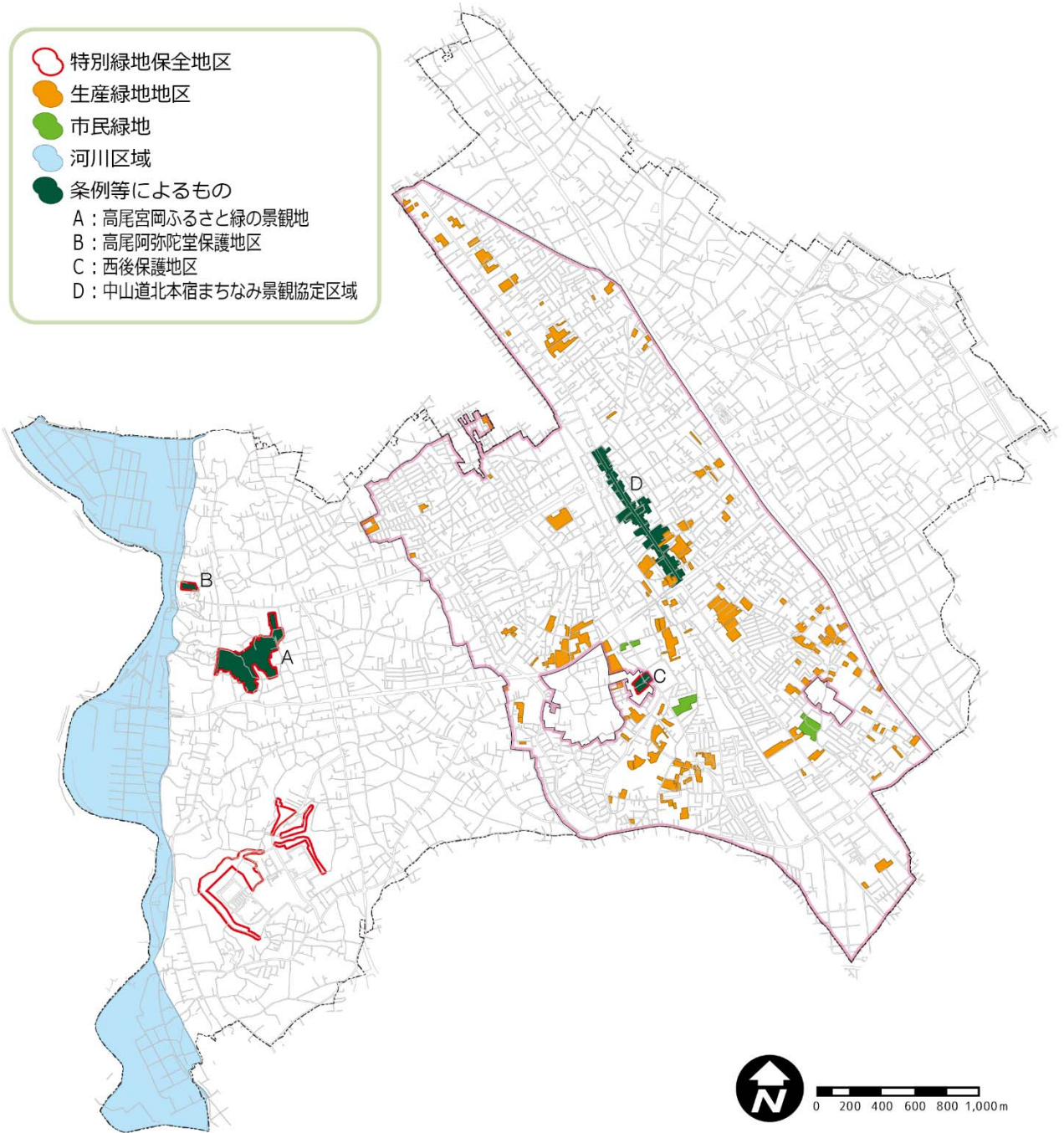
緑地保全施策として、保護・保全地区、生産緑地地区、市民緑地を指定しているほか、県条例の「高尾宮岡ふるさとの緑の景観地」が指定されています。このうち生産緑地地区は110地区、36.49ha、市民緑地は、4地区、2.04haの指定がなされています。

また、中山道のもつ歴史と文化を活かした、北本の顔となるような魅力ある街並みづくりを目標に「中山道北本宿まちなみ景観協定」を締結しています。

#### ■ 地域制緑地の面積（ha）（平成27年3月時点）

種別		市街化区域	市街化調整区域	都市計画区域
法 に よ る も の	特別緑地保全地区	-	5.10	5.10
	生産緑地地区	36.49	-	36.49
	市民緑地	2.04	-	2.04
	河川区域	-	182.00	182.00
条 例 等 に よ る も の	高尾宮岡ふるさと緑の景観地	-	5.48	5.48
	上記景観地外のトラスト地	-	0.16	0.16
	高尾阿弥陀堂保護地区	-	0.35	0.35
	西後保護地区	-	0.68	0.68
	中山道北本宿まちなみ景観協定区域	9.00	-	9.00
計		47.53	193.77	241.30





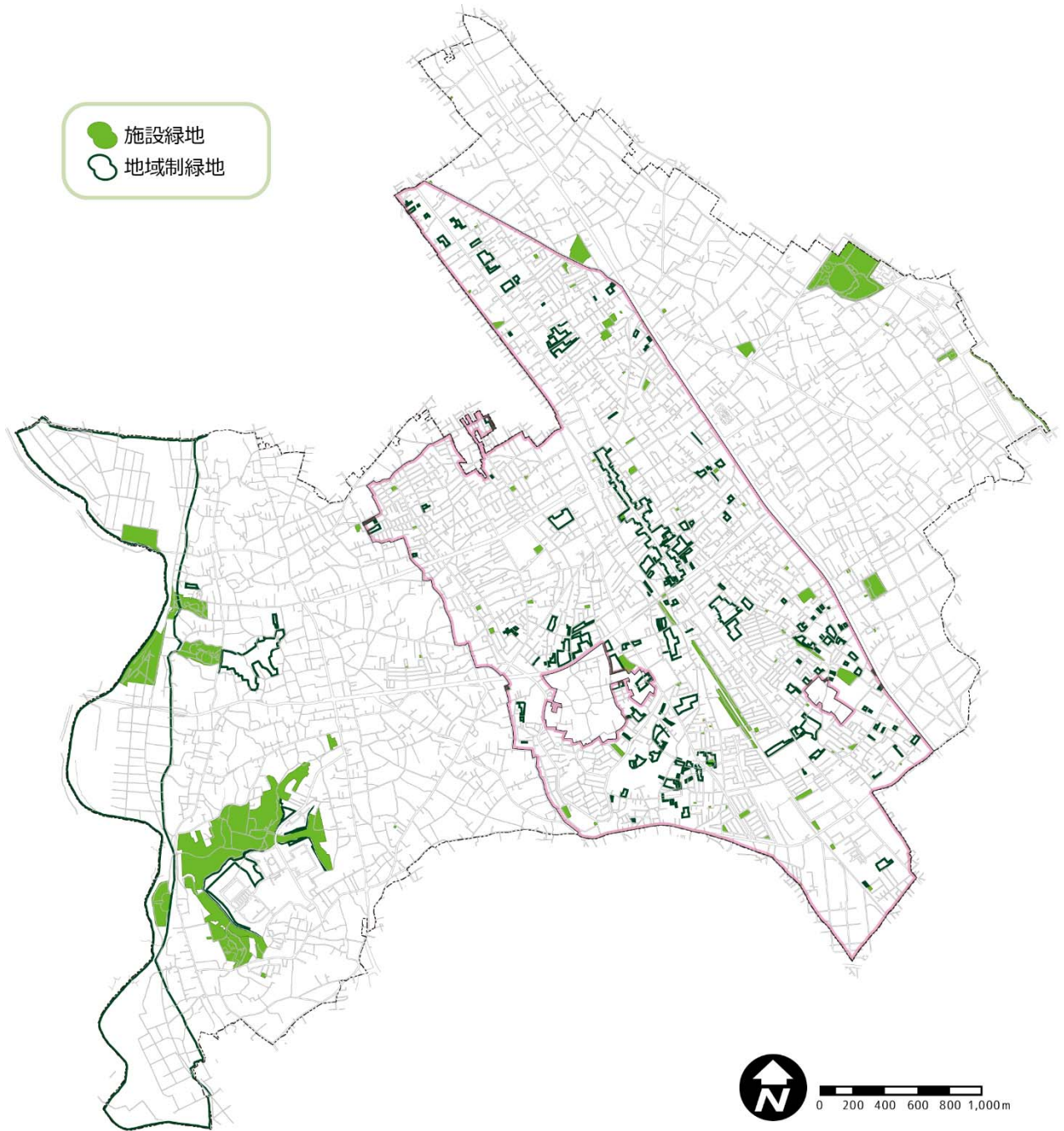
■ 地域制緑地の分布状況

#### (4) 施設緑地及び地域制緑地の緑地現況量

北本市における公園緑地の全体像として、施設緑地及び地域制緑地の現況量を以下に示しました。

##### ■ 施設緑地及び地域制緑地の現況量 (ha) (平成 27 年 3 月時点)

区分		市街化区域	市街化調整区域	都市計画区域	
施設 緑地	都市公園	8.76	60.07	68.83	
	公共施設緑地	12.32	10.13	22.45	
	民間施設緑地	10.74	15.17	25.91	
	施設緑地合計	31.82	85.37	117.19	
地域 制 緑 地	法 に よ る も の 条 例 等 に よ る も の	特別緑地保全地区	-	5.10	5.10
	生産緑地地区	36.49	-	36.49	
	市民緑地	2.04	-	2.04	
	河川区域	-	182.00	182.00	
	高尾宮岡ふるさと緑の景観地	-	5.48	5.48	
	上記景観地外のトラスト地	-	0.16	0.16	
	高尾阿弥陀堂保護地区	-	0.35	0.35	
	西後保護地区	-	0.68	0.68	
	中山道北本宿まちなみ景観協定区域	9.00	-	9.00	
	地域制緑地 小計	47.53	193.77	241.30	
	地域制緑地間の重複	-	-	-	
地域制緑地合計	47.53	193.77	241.30		
施設・地域制緑地間の重複	11.60	0.07	11.67		
緑地現況量総計	67.75	279.07	346.82		



■ 施設緑地及び地域制緑地の分布状況

## (5) 緑の変化状況

北本市緑の基本計画策定からの緑の変化状況を以下に示しました。

### ■ 緑地の変化状況（整備目標統括表）

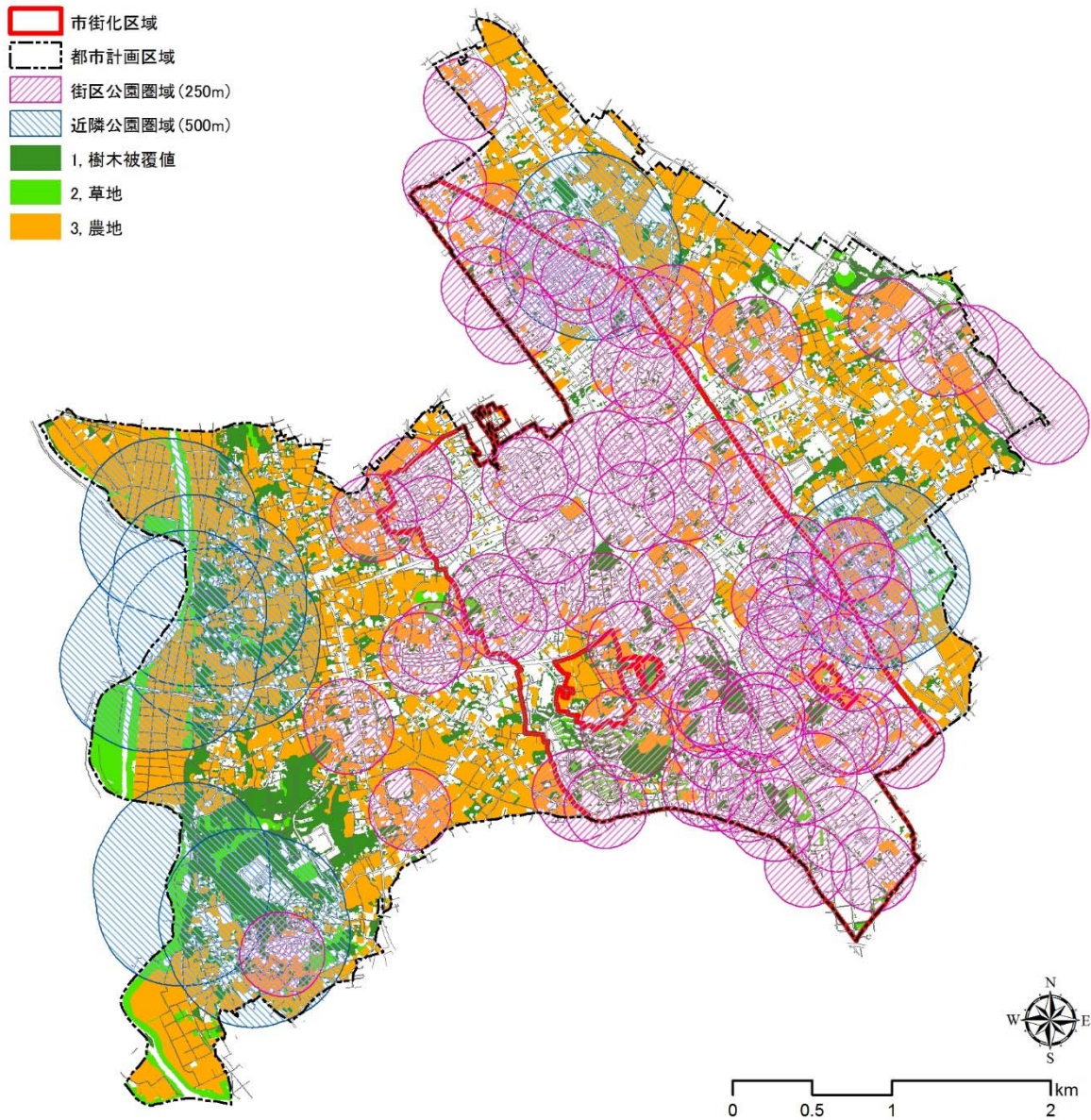
種別		平成7年現況								
		市街化区域			都市計画区域					
		箇所	面積(ha)	m <sup>2</sup> /人	箇所	面積(ha)	m <sup>2</sup> /人			
施設緑地	都市公園	基幹公園	街区公園	51	5.38	1.0	66	7.34	1.0	
			住区基幹公園	近隣公園				6	10.91	1.6
			地区公園							
		都市基幹公園	総合公園				2	11.85	1.7	
			運動公園							
	基幹公園 計		51	5.38	1.0	74	30.10	4.3		
	特殊公園									
	大規模公園									
	緩衝緑地									
	都市林									
	広場公園									
	都市緑地	3	2.59	0.5	3	2.59	0.4			
	緑道									
	国営公園									
	都市公園 計		54	7.97	1.5	77	32.69	4.7		
公共施設緑地		19	4.32	0.8	21	18.69	2.7			
都市公園等 合計		73	12.29	2.3	98	51.38	7.3			
民間施設緑地		13	14.50	2.7	43	31.50	4.5			
施設緑地 計		86	26.79	5.0	141	82.88	11.9			
施設・地域制緑地間の重複	特別緑地保全地区				1	5.10	0.7			
	生産緑地地区	120	44.20	8.3	120	44.20	6.3			
	市民緑地									
	その他法によるもの				1	182.00	26.0			
	法によるもの 計		120	44.20	8.3	122	231.30	33.1		
	条例等によるもの					4	8.19	1.2		
	地域制緑地 小計		120	44.20	8.3	126	239.49	34.2		
地域制緑地間の重複										
地域制緑地合計		120	44.20	8.3	126	239.49	34.2			
施設・地域制緑地間の重複										
緑地総計		206	70.99	13.4	267	322.37	46.1			
人口	市街化区域人口		53.05 千人							
	都市計画区域人口		69.93 千人							
面積	市街化区域面積		683 ha							
	都市計画区域面積		1984 ha							
緑地の確保目標水準 (区域に対する割合)	市街化区域		10.4 %							
	都市計画区域		16.2 %							
都市公園等の目標水準	都市公園		4.7 m <sup>2</sup> /人							
	都市公園等		7.3 m <sup>2</sup> /人							



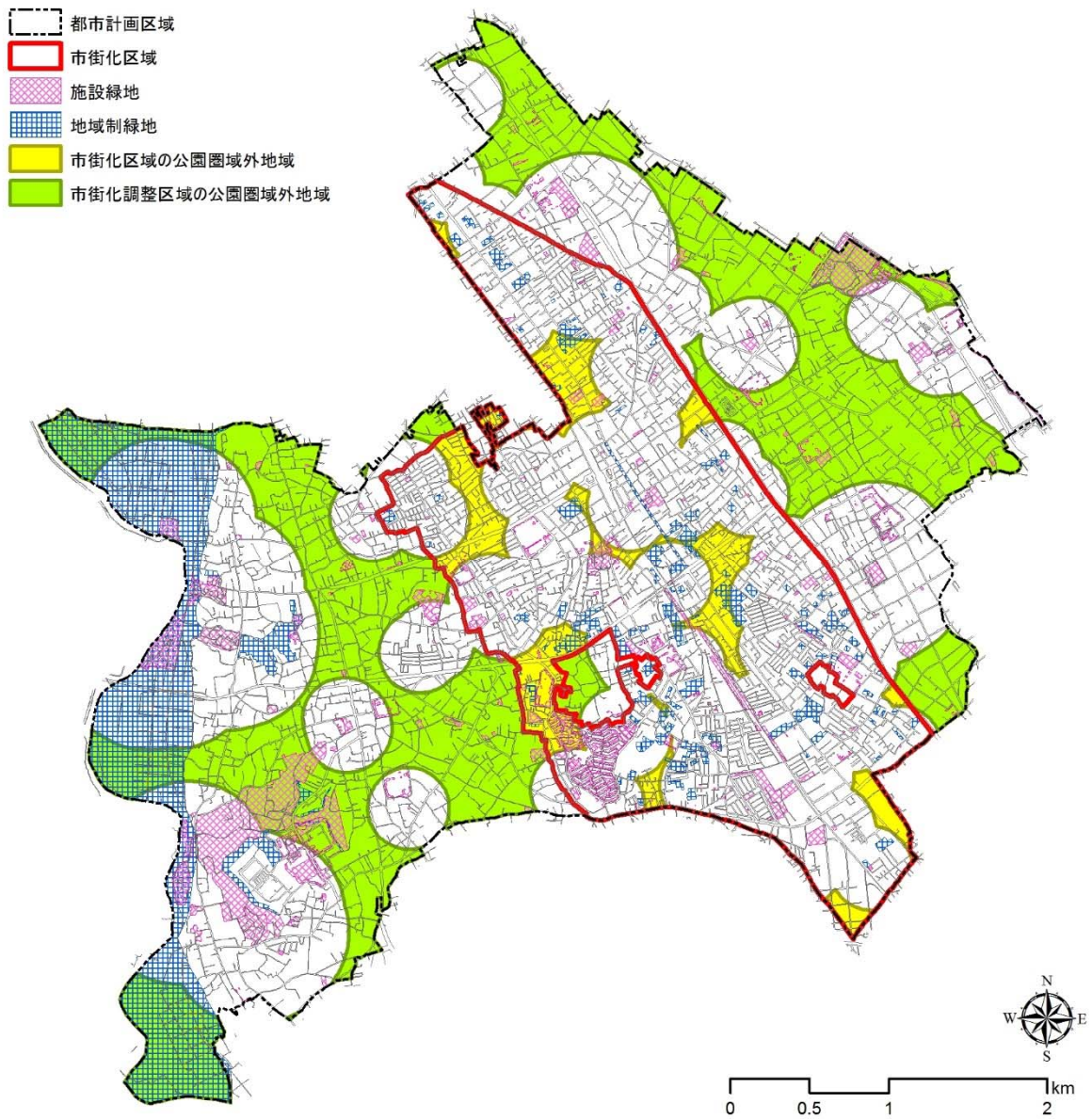
平成27年3月31日現況						平成40年推定					
市街化区域			都市計画区域			市街化区域			都市計画区域		
箇所	面積(ha)	m <sup>2</sup> /人	箇所	面積(ha)	m <sup>2</sup> /人	箇所	面積(ha)	m <sup>2</sup> /人	箇所	面積(ha)	m <sup>2</sup> /人
60	5.29	1.0	77	7.32	1.1	68	7.47	1.5	85	9.50	1.6
			8	20.34	3.0				8	20.34	3.4
			2	37.70	5.5				2	37.70	6.3
60	5.29	1.0	87	65.36	9.5	68	7.47	1.5	95	67.54	11.2
4	3.47	0.7	4	3.47	0.5	4	3.53	0.7	4	3.53	0.6
64	8.76	1.7	91	68.83	10.1	72	11.00	2.3	99	71.07	11.8
36	12.32	2.3	73	22.45	3.3	36	12.32	2.5	73	22.45	3.7
100	21.08	4.0	164	91.28	13.3	108	23.32	4.8	172	93.52	15.5
17	10.74	2.0	61	25.91	3.8	17	10.74	2.2	61	25.91	4.3
117	31.82	6.1	225	117.19	17.1	125	34.06	7.0	233	119.43	19.8
			1	5.10	0.7				1	5.10	0.8
110	36.49	6.9	110	36.49	5.3	110	36.49	7.6	110	36.49	6.1
4	2.04	0.4	4	2.04	0.3	4	2.04	0.4	4	2.04	0.3
			1	182.00	26.6				1	182.00	30.2
114	38.53	7.3	116	225.63	33.0	114	38.53	8.0	116	225.63	37.4
1	9.00	1.7	5	15.67	2.3	1	9.00	1.9	5	15.67	2.6
115	47.53	9.0	121	241.30	35.3	115	47.53	9.8	121	241.30	40.0
115	47.53	9.0	121	241.30	35.3	115	47.53	9.8	121	241.30	40.0
	11.60	2.2		11.67	1.7		11.60	2.4		11.67	1.9
232	67.75	12.9	346	346.82	50.7	240	69.99	14.5	354	349.06	57.9
市街化区域人口			52.59 千人			市街化区域人口			48.33 千人		
都市計画区域人口			68.44 千人			都市計画区域人口			60.30 千人		
市街化区域面積			721 ha			市街化区域面積			721 ha		
都市計画区域面積			1982 ha			都市計画区域面積			1982 ha		
市街化区域			9.4 %			市街化区域			9.7 %		
都市計画区域			17.5 %			都市計画区域			17.6 %		
都市公園			10.1 m <sup>2</sup> /人			都市公園			11.8 m <sup>2</sup> /人		
都市公園等			13.3 m <sup>2</sup> /人			都市公園等			15.5 m <sup>2</sup> /人		

## (6) 住宅基幹公園の誘致圏域の現況

都市公園の誘致圏域についてみると、東間3、4丁目、本宿6、7丁目、西高尾4～6丁目などにおいて、街区公園や近隣公園等の身近な公園が不足している地域がみられます。



■ 住宅基幹公園の誘致圏域図



■ 誘致圏域外地域と施設緑地及び地域制緑地の分布

## 3 緑の意識調査結果

### (1) アンケート概要

#### ア 調査目的

緑に関する市民意向の把握のため、市民が日頃抱いている緑のイメージや、身近な緑に対する意識、利用状況や市への要望等を把握し、緑の基本計画に市民の意向を反映させるために、調査結果を集計・分析し市民意識を把握することを目的としました。

#### イ 調査対象

20歳以上の北本市在住の市民。

#### ウ 調査方法

無作為に抽出した2,000名へアンケート調査票を郵送。

同封した返信用封筒にて郵送回収。

#### エ 調査期間

平成26年9月18(月)投函。

平成26年9月26日(金)締め切り。10月20日(月)到着分まで。

#### オ 実施結果

調査票配布数 2,000件 (うち宛先不明で返送された件数 12件)

有効回答数 851件

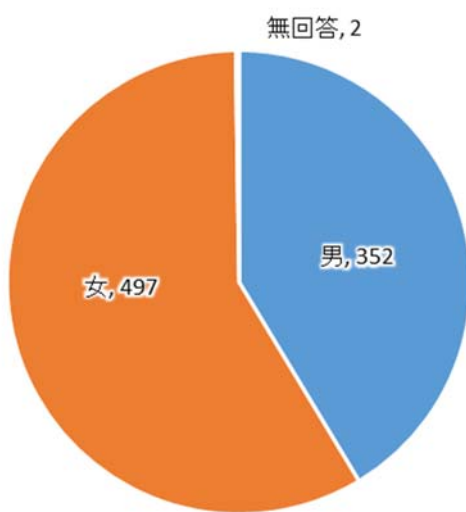
有効回収率 42.8% (851件/1,988件)



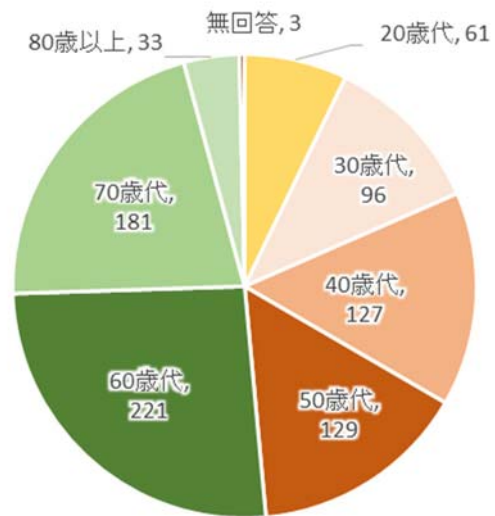
(2) アンケート結果

問 1～4 基本情報

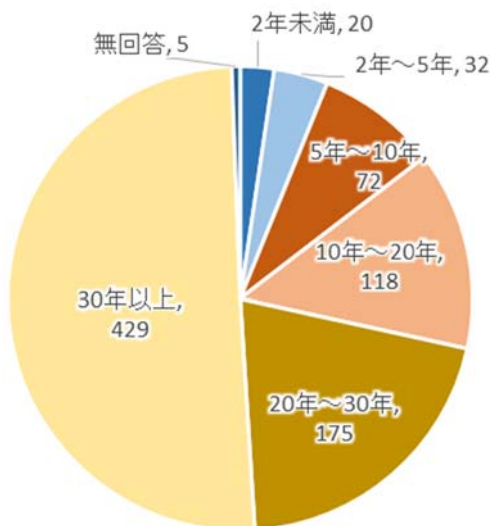
- ・ 総回答数は 851 件でした。
- ・ 男女比では女性の方が多くなっていました。
- ・ 年齢構成では、人口比を反映して 60 代以上が多かったものの、多くの世代から回答が得られました。
- ・ 居住年数では、30 年以上の方が最も多く、約半数を占めていました。
- ・ 居住地区では、全ての地区で概ね同数程度の回答が得られました。



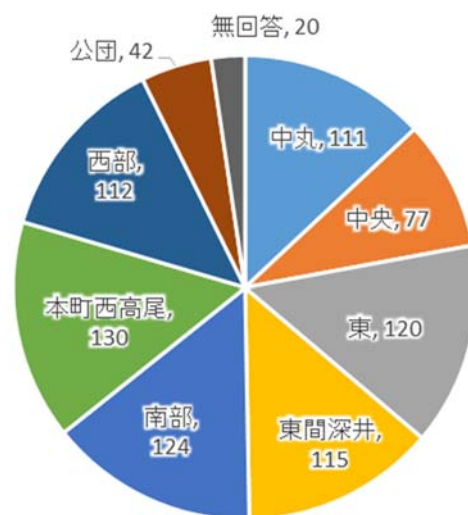
問 1 性別



問 2 年齢



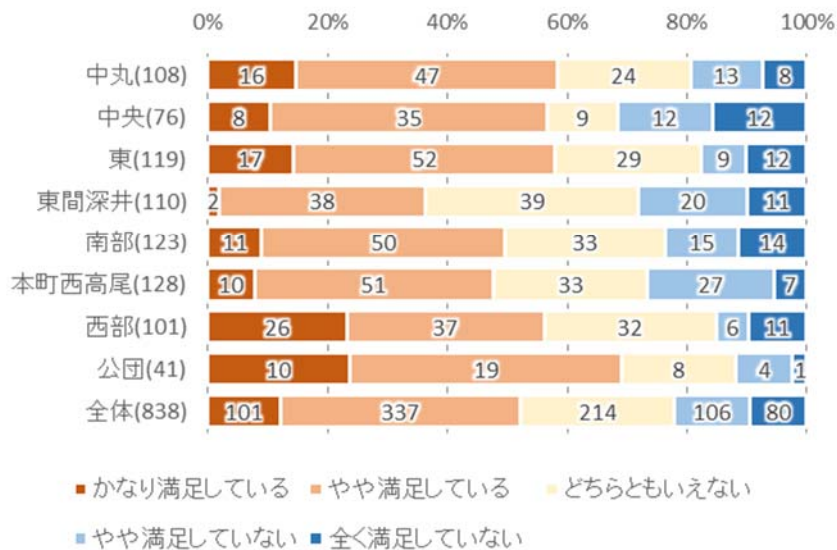
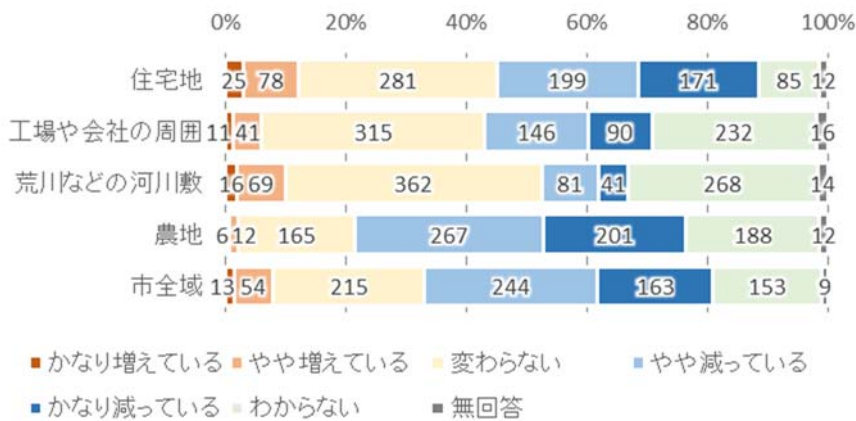
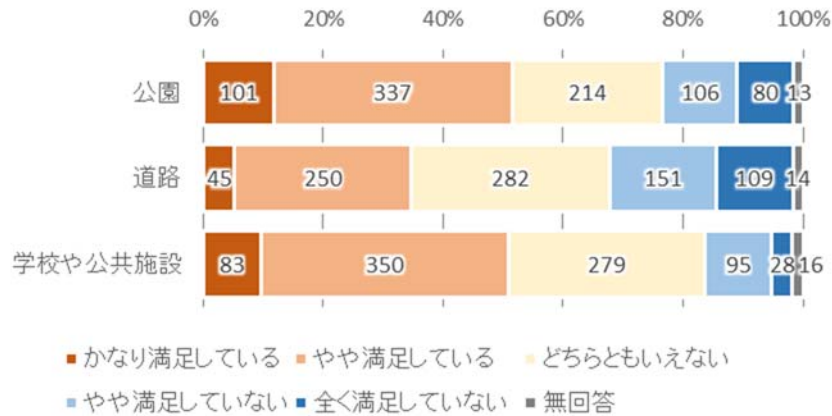
問 3 居住年数



問 4 居住地区

### 問5 「みどり」の現状及び変化について

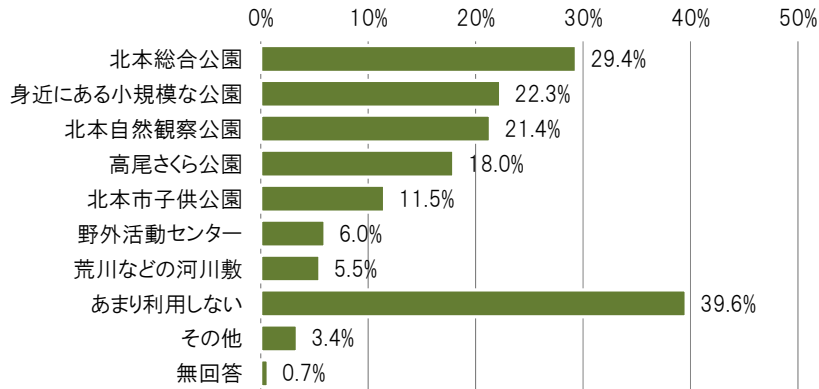
- ・ 公園、学校などでは、約半数が満足しているが、道路ではやや不満が多くなっています。
- ・ 増減では、河川敷を除く多くの選択肢で、減っている印象が強くなっています。
- ・ 地区別には、どの項目でも、北部でやや満足度低い傾向があります。



【公園の満足度×地区】

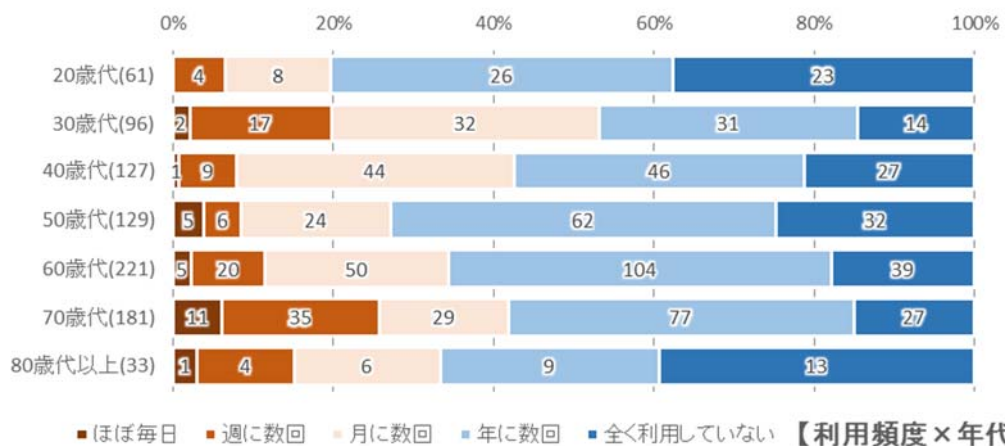
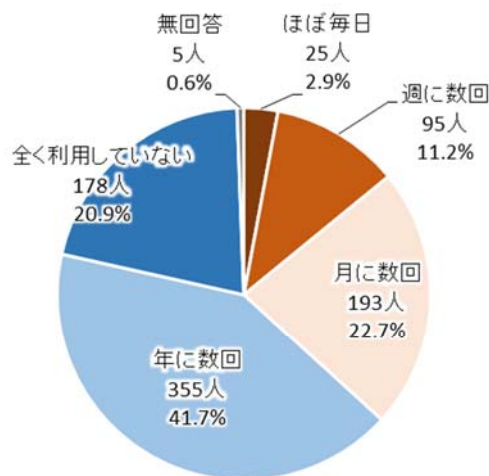
問6 よく利用する公園（2つまで回答）

- ・ 西部地域にある公園が多くあげられています。
- ・ 一方で、あまり利用しないという意見4割近くを占めています。



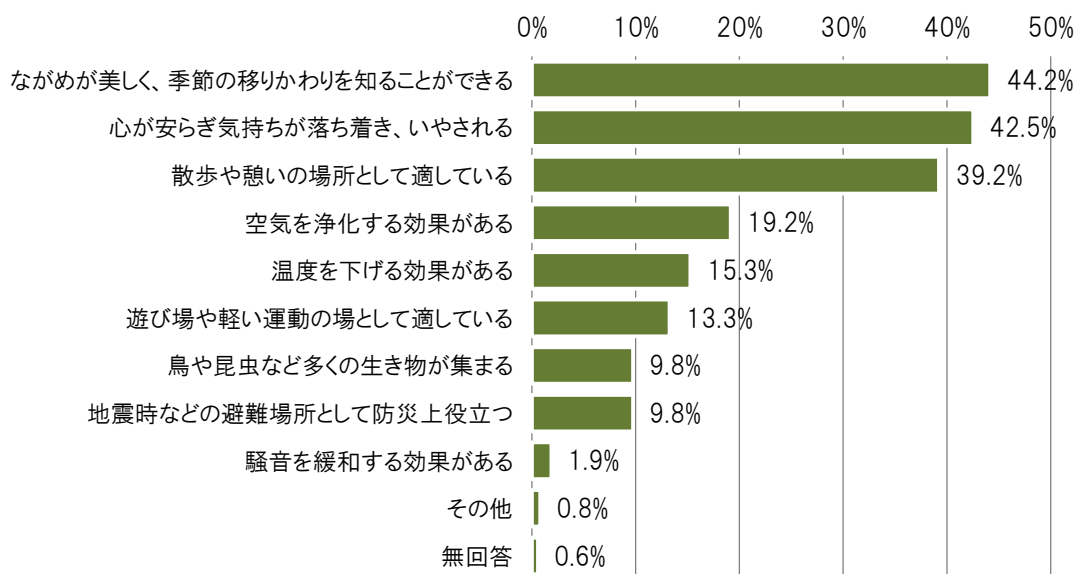
問7 公園の利用頻度

- ・ 全体に利用頻度が低くなっています。
- ・ 年代別には、30代の子育て世代や70代の高齢者がやや頻度が高い傾向があります。



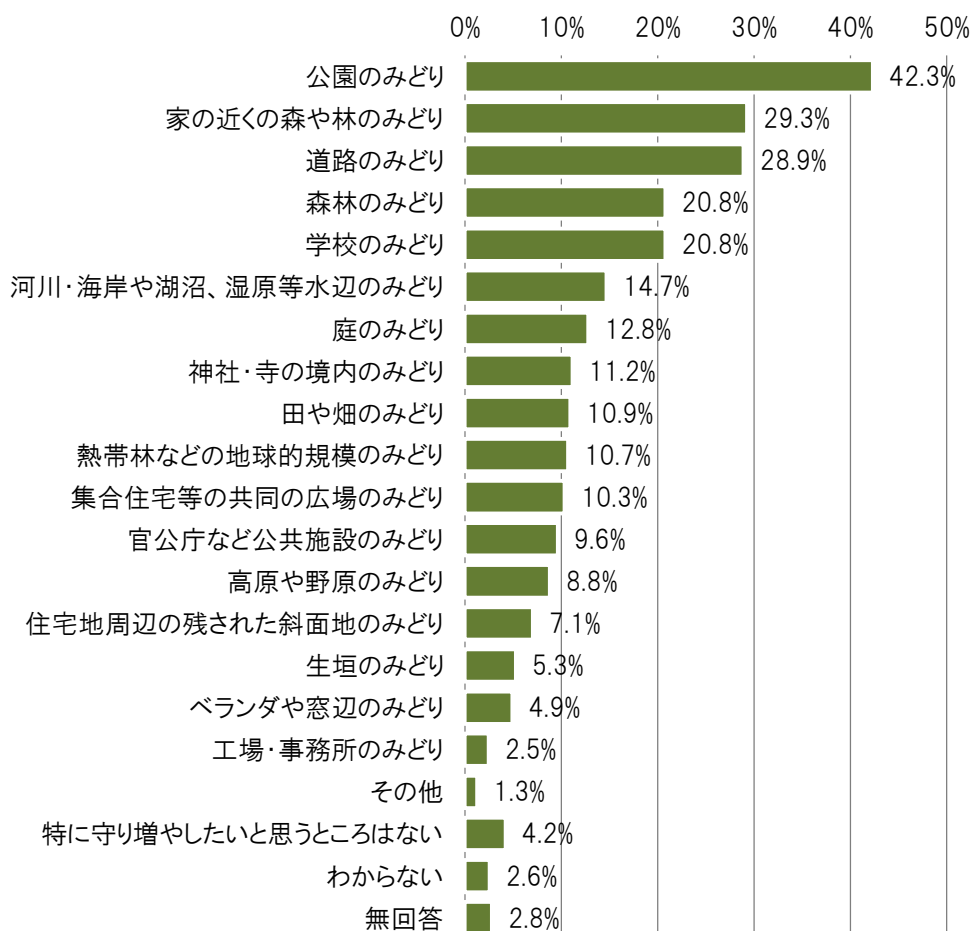
## 問8 みどりに求める役割（2つまで回答）

- ・ 風景や自然による癒しの場としての役割を感じる人が多い傾向があります。



## 問9 守り増やしたい「みどり」（3つまで回答）

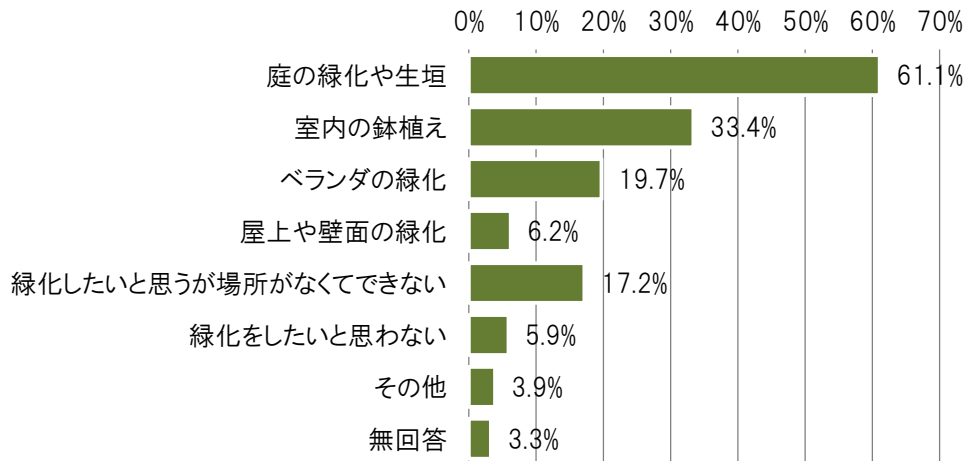
- ・ 公園や学校、庭などの近隣にある緑を求める傾向が見られます。





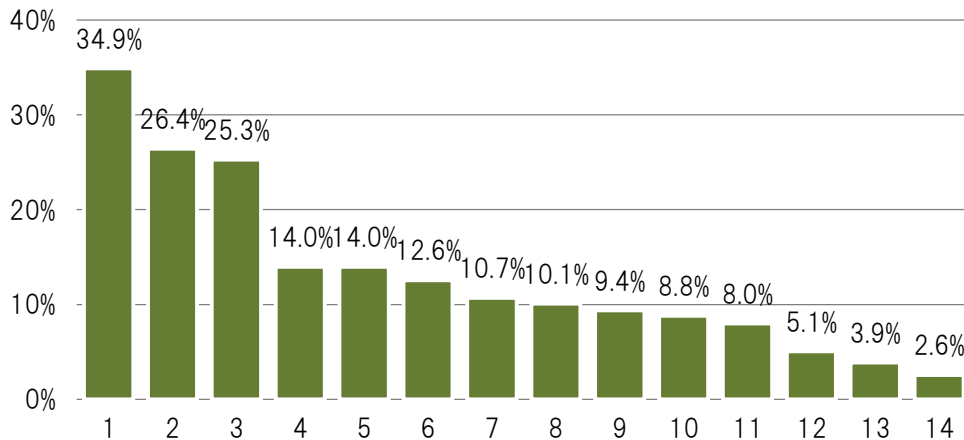
問 10 自分の家で、手がけたい緑化は（複数回答）

- ・ 庭が最も多く、庭や生け垣などの緑が多いことが反映されています。
- ・ 一方で、希望はあるがその場所がないために緑化活動ができない人が一定数以上います。



問 11 将来あったら良いと考える公園・緑地（2つまで回答）

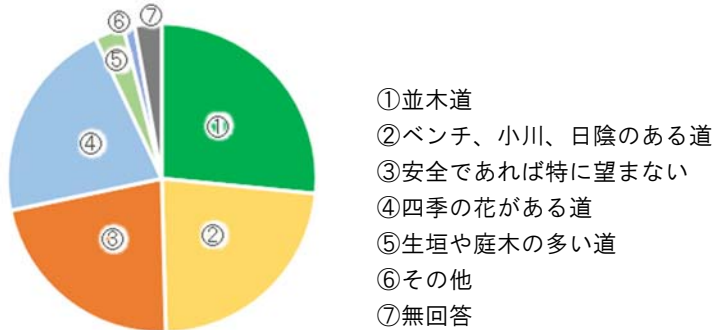
- ・ 芝生や花壇などの憩える空間が求められているとともに、防災や自然環境に対する視点も比較的多くなっていました。



- 1：芝生や花壇が多く、美しい草花の咲く公園
- 2：防災倉庫、かまどベンチ、マンホールトイレ、ソーラー灯などの防災機能を有した防災公園
- 3：野鳥や小動物がすむ森や林がある公園
- 4：身近にある小規模な公園
- 5：公共施設と一体となった公園
- 6：野外ステージ、音楽ホールなどの文化施設がある地域のイベント等に活用できる公園
- 7：野球やテニスなどのスポーツができる公園
- 8：ハイキングやキャンプが楽しめる公園
- 9：水辺空間を利用した親水公園
- 10：かくれんぼや鬼ごっこができ、施設がない原っぱのある公園
- 11：既存の公園・緑地で満足している
- 12：商業地のオープンな広場
- 13：その他
- 14：無回答

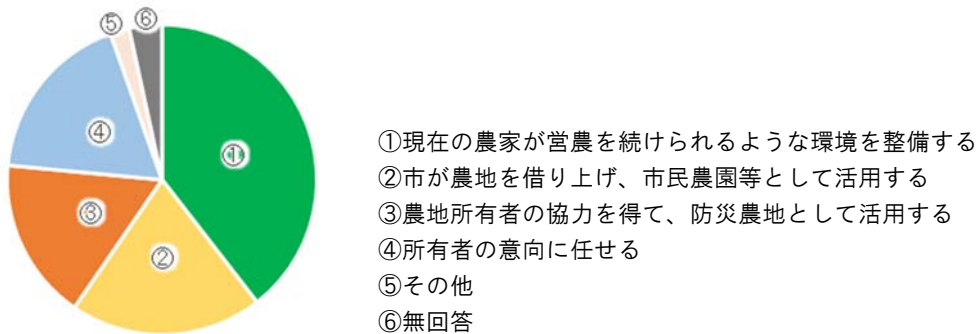
### 問 12 希望する道路、歩道の緑化の形態

- ・ 道などの身近な場所での緑化を望む声が目立ちました。
- ・ 一方で、特に緑化を望まないという意見も比較的多くなっています。



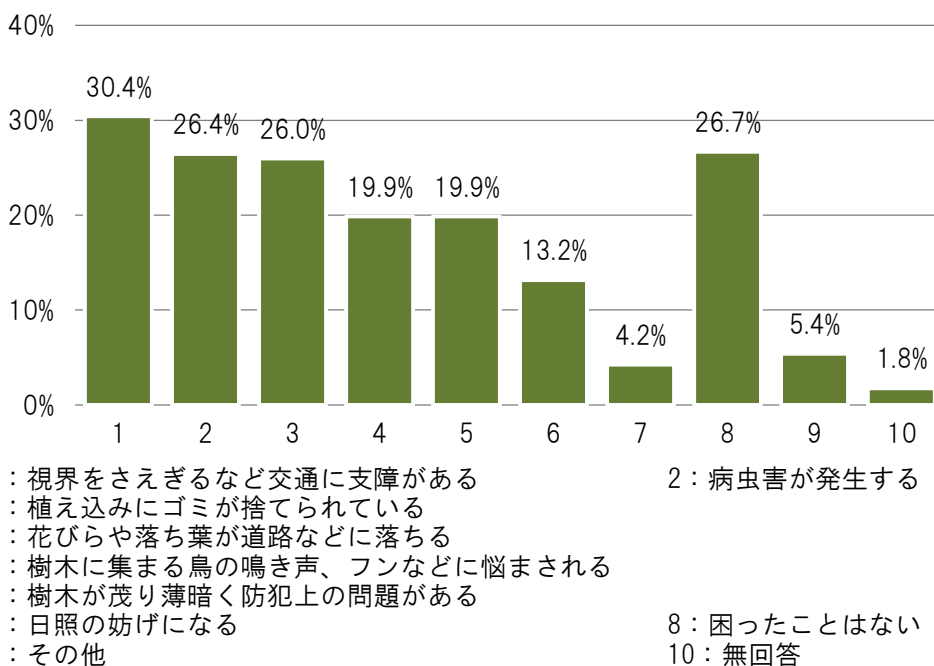
### 問 13 農地について、市に取り組んでほしいこと

- ・ 営農を続けるための環境整備が多く求められています。



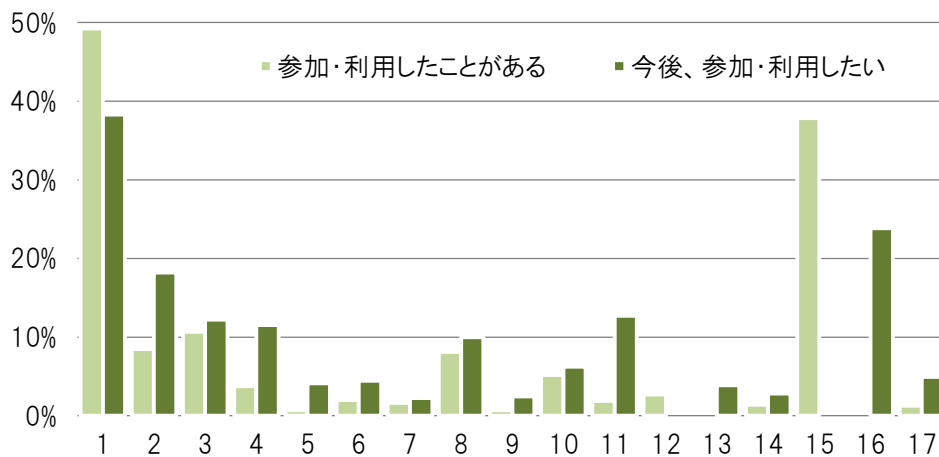
### 問 14 家の周りの林や樹木で困ったこと（複数回答）

- ・ 道における苦情が目立つ一方で、特に問題がないとする意見も約 1/4 をしめていました。

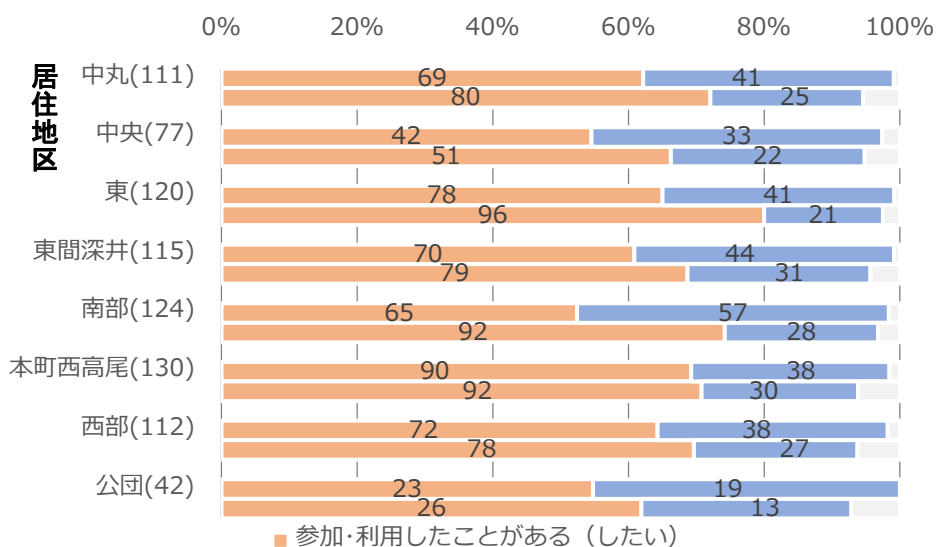
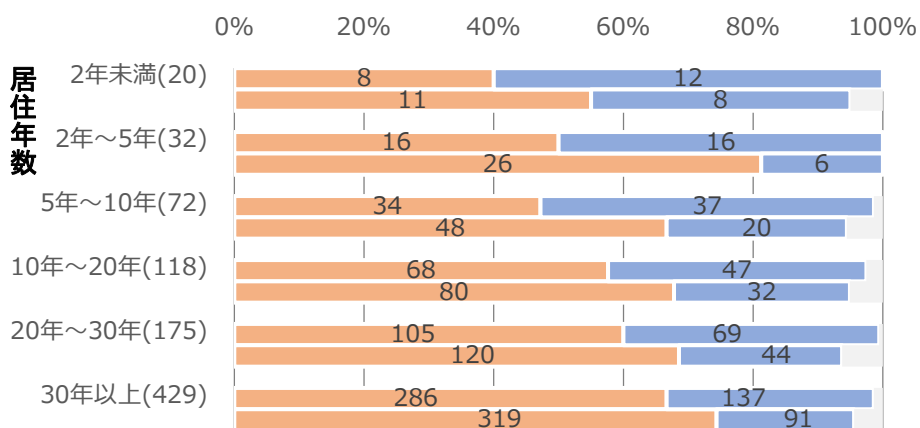
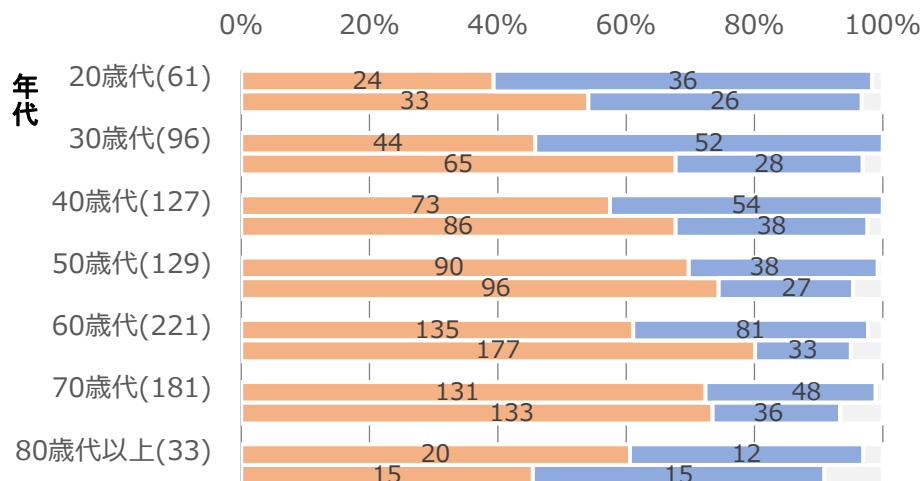


問 15・16 参加・利用したことがある(問 15)したい(問 16)ボランティアなど(複数回答)

- ・ 地域の美化に参加したことがあるという意見が多くなっています。
- ・ これまでに参加したことがないという意見が約4割を占める一方で、約1/4で今後の参加を望んでおり、緑化活動や保全活動、講習会への参加という意見が比較的多くなっています。
- ・ 年代があがるほど、実態・希望が増える傾向がありました。
- ・ 若い世代や、居住年数が少ない人で、今後の参加希望が多く、さらに、60代の参加希望も非常に高くなっています。



- 1: 地域の美化
- 2: 地域の緑化
- 3: 公園ボランティア
- 4: 自然保護
- 5: 水辺環境の保全
- 6: まちなみ景観の保全
- 7: 緑化協力団体への参加協力
- 8: みどりのフェスティバル等での緑に関する取り組み
- 9: 緑の何でも相談窓口の利用
- 10: 緑と花のまちづくり基金への協力
- 11: 園芸講習会など緑に関する講習会への参加
- 12: 市民農園の利用
- 13: 緑のコンクール、緑の写真撮影大会の参加
- 14: その他
- 15: 参加したことがない
- 16: 参加するつもりはない
- 17: 無回答

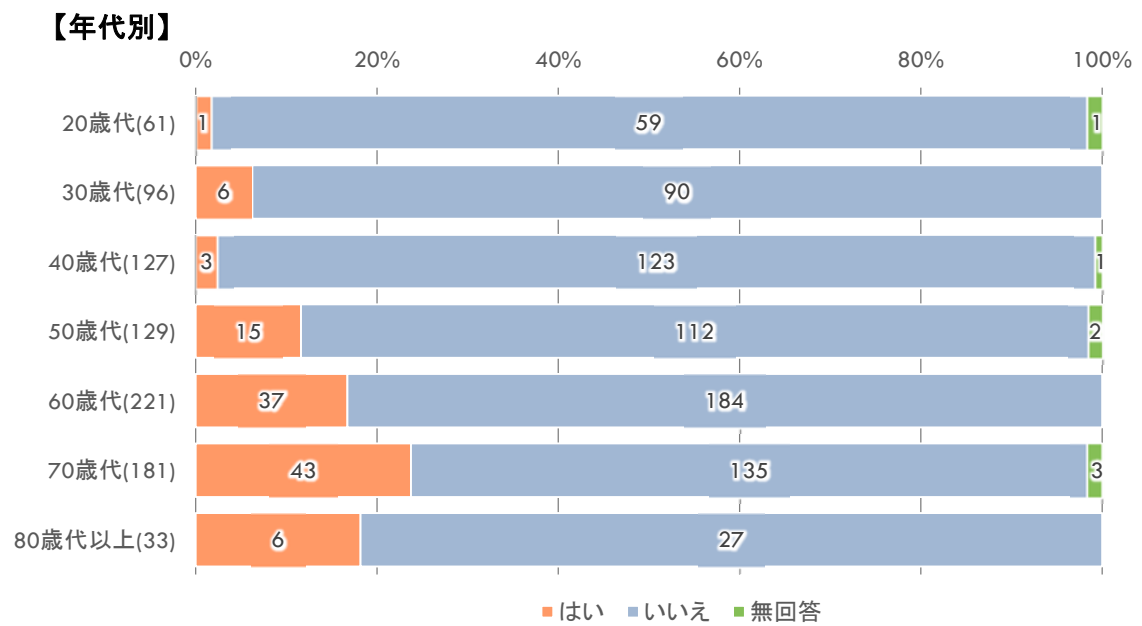
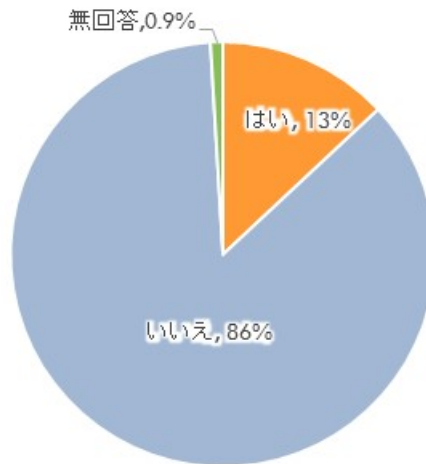


※上段：参加・利用したことがある（問 15）、下段：参加・利用したい（問 16）



問 17 「北本市緑の基本計画」を知っているか

- ・ 認知度が非常に低くなっています。
- ・ 年代別に見ると、年代があれば上がるほど認知度が上がる傾向があります。



## おまつり



北本市では緑をテーマにしたおまつりが、いくつも行われています。春にはさくらまつりやみどりのフェスティバルが、秋にはきくまつりが行われ、大勢の人で賑わいます。